

令和7年度 活動報告

1. 令和7年度 運営会議および理事会報告

開催日	会議	場所	主な審議事項
4月6日 (日)	第1回運営会議	オンライン	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本助産師会の会長交代・臨時総会について 2. 会計監査報告 3. 我孫子市ウエルカムベビー事業会計監査報告 4. 交通費支給について 5. 事務員給与の源泉徴収について 6. 100周年記念事業について
4月13日 (日)	第1回理事会	生涯学習センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度千葉県助産師会総会について 2. ホームページについて 3. 令和7年度の会議日程について 4. 電話相談カルテの保存について 5. 電話相談員の人件費について 6. 産後ケアについて 7. 令和6年度収支決算報告および令和7年度予算案
4月27日 (日)	第2回理事会 (総会后)	千葉市文化センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理事・監事・委員・顔合わせ 2. 各部会・委員会・研修会について
5月25日 (日)	第2回運営会議	オンライン	第3回理事会運営について
6月8日 (日)	第3回理事会	オンライン	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本助産師会総会参加時の予備代議員の交通費支給について 2. 理事会日程・開催方法の変更、菜の花会開催について 3. 千葉県助産師会通常総会 アンケート結果 4. 100周年記念事について 5. 2024年度地区報告会抄録集について 6. スタジオアリスセミナー事業
8月17日 (日)	第3回運営会議	オンライン	第4回理事会運営について
8月31日 (日)	第4回理事会	千葉市民会館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 8月7日の日本助産師会臨時総会報告 2. 千葉県への要望書提出・意見交換 3. 2025年度会費未納者について 4. 表彰候補者について 5. 2026年度代議員・予備代議員について 6. インシデント報告 7. 菜の花会について 8. 100周年記念事業 進捗状況 9. 日本乳幼児精神保健学会 学術集会への参加について

開催日	会議	場所	審議事項
11月2日 (日)	第4回運営会議	オンライン	第5回理事会運営について
11月10日 (月)	臨時理事会	オンライン	保健指導部会交流会開催について
11月23日 (日)	第5回理事会	千葉市民会館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回都道府県代表者会議報告 2. 産後ケアインシデント報告 3. 会計監査(中間報告)について 4. 保健指導部会と安全対策委員会の合同交流会について 5. 100周年記念委員会 進捗状況 6. 選挙に向けて(推薦委員・選挙管理委員選出) 7. 2026年地区報告会について 8. 賛助会員継続選出の承認 9. HP修正内容の確認
令和8年 1月11日 (日)	第5回運営会議	オンライン	第6回理事会運営について
1月25日 (日)	第6回理事会	オンライン	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際助産師の日イベントについて 2. 100周年記念事業委員会報告 3. 会長表彰について 4. 事業報告(スタジオアリスマタニティセミナー)について 5. 会計事案(役員のインク代等)について 6. 総務事案(通常総会)について 7. 運営会議について 8. 大潮の郵送費について 9. 講習会・研修会について
2月15日 (日)	第7回理事会	オンライン	予定
3月1日 (日)	第6回運営会議	オンライン	予定
3月15日 (日)	第8回理事会	千葉市民会館	予定
4月12日 (日)	第1回理事会	千葉文化センター会議室	予定
4月26日 (日)	総会後 第2回理事会	千葉文化センター会議室	予定

2. 令和7年度 事業計画の評価

目標	実施計画および具体的内容	成果指標
<p>1. 組織体制を強化し、組織内および各関連機関と連携のとれた組織となる。</p>	<p>1) 定期的に総会・運営会議・理事会・各地区定例会・各部会・各委員会を開催し、組織的に取り組む。</p> <p>2) 会員相互の連絡・報告が円滑に行われる組織を目指す。</p> <p>3) 専門部会間の連携を強化する。</p> <p>4) 定款・細則・規程を見直し、組織運営を効果的なものにする。</p> <p>5) 日本助産師会と連携して組織運営を行う。</p> <p>6) 各自治体および関連団体と連携する。</p>	<p>1) 総会：令和7年4月27日（日）に千葉市文化センターにて対面開催をした。</p> <p>運営会議：6回、理事会：8回、運営会議は基本的にオンライン、理事会はオンラインまたは対面（オンライン併用）開催とした。</p> <p>地区定例会・部会・委員会を定期的に開催した。</p> <p>事業計画に則り事業の推進・調整・支援を行った。</p> <p>2) 大潮を年3回（第47・48・49号）発行した。</p> <p>ホームページや会員メーリングリストに加えて、各会のライングループやメーリングリストを用いて、随時会員に情報を発信した。</p> <p>3) 3部会集会を開催し、研修会含めて部会間の連携および地域と施設で働く会員が情報共有・交流する機会をもった。</p> <p>4) 定款及び細則に基づき、理事・監事・委員等の推薦・改選準備をした。</p> <p>5) 日本助産師会総会および臨時総会や理事選挙に代議員を派遣し、日本助産師会・南北関東地区の代表者会議に参加して協議した。</p> <p>6) 千葉県と情報共有をして、協力や意見交換および要望を行った。</p> <p>各地区を通して、産後ケア事業等の市町村事業に協力した。院内助産や産後ケア事業について、自治体に情報提供を行い、連携した。</p> <p>看護協会主催の助産師交流会等の様々な機会を通して看護協会や医師会等の関連団体と連携した。</p> <p>災害支援において自治体および関連団体と連携した。</p>
<p>2. 地域で活動する助産師に対し、安全対策への組織的な取り組みを行う。</p>	<p>1) 助産所の質の維持を図る。</p> <p>2) 事故事例等の報告書を作成し、その組織的な運用を通して母子の安全に努める。</p> <p>3) 母乳育児支援、産後ケアにおける母子の安全に努める。</p> <p>4) 保健指導の安全管理指針の策定を推進する。</p> <p>5) 安全のための講習会の受講を推進する。</p> <p>6) 日本助産師会賠償責任保険への加入を推進する。</p> <p>7) 地域の協力機関との連</p>	<p>1) 助産所11か所の安全管理評価を実施した。</p> <p>評価後の改善点を共有した。</p> <p>2) 助産所部会員のIT利用により転院・搬送報告等を行い、分娩件数統計を行った。事故・搬送・転院事例、ヒヤリハット・インシデント事例の報告書作成を支援し、事例の検証・検討会を行った。</p> <p>インシデント報告は5件（1月～12月）あった。</p> <p>3) 保健指導部会を中心に交流会を開催。安全な母乳育児支援、産後ケアの現状について共有した。</p> <p>4) 保健指導開業助産所（来所型）の安全管理指針のサンプルを作成し、BCP作成に向けて検討した。</p> <p>5) 安全管理研修を年2回開催した。</p> <p>6) 助産所・保健指導・勤務助産師各々に産後ケア受託において必要な賠償責任保険への加入を推奨した。</p> <p>7) 産婦人科医会との研修会は企画できなかったが、</p>

	携を図る。	産婦人科医を講師とした「産科救急の実践」研修会を開催した。随時、地域の産婦人科医と情報交換を行った。
3. 助産および母子保健事業を実施する。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 電話無料相談(ミッドライフ千葉)を継続する。 2) 電話相談における地域との連携を深める 3) 「国際助産師の日」のつどいを開催する。 4) 地域と施設の連携の推進を図り、安定した継続的な母子保健活動を行う。 5) 産後ケアの質の向上を図る。 6) 千葉県及び市町村と連携して母子保健事業を推進する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 相談事業運営を見直し、安定した運営を行うために、令和6年度から引き継ぎ相談日は月・金、実施時間は3時間とし対応とした。 30名の電話相談員で電話相談を継続し、交流会を開催した。 2) 相談内容に応じて、助産所や他機関と連携した。 3) 令和7年7月13日(日)に流山市おおたかの森にて「国際助産師の日」のつどいを開催した。 4) 地区活動等に勤務助産師も加わり、連携をとりながら母子保健活動を実施した。 各地区と関連施設が情報交換を行い、連携した。 5) 産後ケア実務助産師研修修了者の更新申請の協力周知した。また実務者の充実・普及につなげ、行政と協力して産後ケア事業を実施した。 地域と施設の連携に向けて、産後ケア等の千葉県医療整備課からの調査をもとにHPに公示。 産後ケアで活用できる研修会を開催した。 6) 地区理事・担当者とともに、市町村の産後ケア事業の受託及び委託料の値上げを推進した。
4. 助産師のキャリア・アップを支援する。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 助産師の継続教育として必要かつ効果的な研修会を開催する。 2) CloCMiP®ラダーⅢの認証および更新を推進する。 3) 各種表彰を推進する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 教育体系に沿って教育計画を立案・実施した。 会員のニーズよりzoom開催やオンデマンドによる開催を考慮した。 2) ラダーⅢの認証および更新に必要な情報を収集し、会員メーリングリスト等で会員に周知した。 ラダーⅢ対応の研修会を開催した。 3) 各種表彰に既定数の候補者を選出し、会を通して表彰の候補者を推薦した。(表彰者頁参照)
5. 講師を育成し、健康教育を実施する。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「生と性の健康」の意義・必要性について会員の理解を深める。 2) 「生と性の健康教育」の方略を検討する。 3) 新規の活動として、思春期相談事業(千葉県委託事業)に取り組む。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 研修・交流会を開催した。 2) ①各地区の現状について情報交換を行った。地区やフォームメールからの様々な問題を共有し、対話の中から対策を見出した。 ②講師同士の情報交換と交流をはかる、講師になりたい会員が情報を得ることを目的として、HPに生と性の健康教育委員会のページを設けた。 ③講座見学希望者の受け入れを行った。 ④各地区で講師育成に取り組んだ。 3) 今年度は取り組んでいない。

<p>6. 災害対策への取り組みを強化する。</p>	<p>1) 災害発生時に対応できる組織を整備する。</p> <p>2) 日本助産師会や他県の助産師会との連携を強化する。</p> <p>3) 千葉県や各市町村との連携を強化する。</p>	<p>1) 8月31日災害時初動シミュレーション訓練を実施した。会員全員への周知は今後の継続課題である。 災害時支援協力員・協力助産院は増加している。 災害時支援マニュアルの読み合わせは意義があった。</p> <p>2) 日本助産師会災害対策委員会連携集会や他機関の研修会に参加し、他県の助産師会と情報交換した。</p> <p>3) 地域の防災訓練、印西市災害時保健活動訓練に参加し、助産師活動をアピールした。各市町村との災害支援協力を図った。千葉県主催の小児周産期リエゾン講習に参加した。 第46回九都県市合同防災訓練（館山市）に参加した。 四街道市と災害支援協定締結した。</p>
<p>7. 会員増加と会員同士の交流を図る。</p>	<p>1) 会員の定着により助産師会活動の活性化を図る。</p> <p>2) 会員同士の交流を図る。</p>	<p>1) 事業活動で助産学生の学修の場となる機会をつくり、助産師会の活動を知ってもらった。非会員および助産学生の研修参加を促し、入会の機会を促した。会員の定着・増加を目指し、目標390名のところ1月26日現在384名で、目標達成に至らなかった。</p> <p>2) 11月23日に100周年記念事業の会場下見兼ね対面で菜の花会を開催した。世代や部会を超えた会員同士の交流となった。R8年9月26日開催予定の100周年記念事業の計画運営を進めているところである。</p>
<p>8. 千葉県助産師会の事務所の管理・運営の安定化を図る。</p>	<p>1) 事務所の管理・運営方法を見直す。</p> <p>2) 事務員の雇用の安定化を図る。</p>	<p>1) 事務所の管理・運営方法を適宜確認した。事務所内の書類・物品の整備を行った。事務所移転については引き続き検討していく。</p> <p>2) 事務員の任用（会員）を継続し、勤務日は週2日ないし3日とし、職務内容に応じて勤務場所・時間帯などの形態を調整している。</p>

3. 地区活動報告

千葉県助産師会地区割り

地区部会名		市町村名					
1	柏・野田・我孫子・流山・松戸地区部会	柏市	野田市	我孫子市	流山市	松戸市	
2	市川・浦安地区部会	市川市	浦安市				
3	船橋地区部会	船橋市					
4	習志野・八千代・鎌ヶ谷地区部会	鎌ヶ谷市	習志野市	八千代市			
5	印旛地区部会	白井市	印西市	佐倉市	成田市	酒々井町	富里市
		栄町	八街市	四街道市			
6	香取・海匝・山武地区部会	銚子市	旭市	匝瑳市	横芝光町	芝山町	東庄町
		東金市	山武市	多古町	神崎町	香取市	
		大網白里市		九十九里町			
7	千葉地区部会	千葉市					
8	長生・夷隅地区部会	茂原市	白子町	長生村	一宮町	長南町	睦沢町
		勝浦市	いすみ市	大多喜町	御宿町	長柄町	
9	市原・君津・安房地区部会	市原市	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	鴨川市
		館山市	南房総市	鋸南町			

令和7年度 第1地区 活動報告 No.1

地区名：柏・野田・我孫子・流山・松戸地区 地区部会長：小林 由美子 会員数：72名

1. 定例会開催 年7回

2. 研修会

開催日	内容	講師
9/8,10/20,12/8,2/2	国際セクシャリティ教育ガイダンス読み合わせ	

3. 行政および関連団体等の会議参加状況は49ページを参照。

4. 行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
柏市新生児訪問	14名	松戸市新生児・乳児全戸訪問	2名
柏市こんにちは赤ちゃん訪問	1名	松戸市産後ケア ケア従事者	6名
柏市産後ケア コーディネーター	1名	松戸市産後ケア コーディネーター	1名
柏市産後ケア ケア従事者	12名	松戸市教育委員会就学相談心理相談員	1名
柏市妊産婦等生活援助事業に関わる外部委員	1名	野田市新生児訪問	2名
流山市新生児訪問	6名	野田市産後ケア ケア従事者	4名
流山市乳児全戸訪問	1名	野田市産後ケア コーディネーター	1名
流山市妊娠出産子育てサポート事業	3名	我孫子市ウェルカムベビー学級	10名
流山市ハローベイビー（両親学級）事業	2名	我孫子市利用者支援事業	2名
流山市産後ケア事業ケア受託者	2名	我孫子市4ヶ月児相談	1名
流山市「子育てママのセミナー」事業	2名	我孫子市新生児・乳児全戸訪問	2名
流山市双子両親学級ウェルカムびーなっつ	3名	千葉県不妊不育オンライン相談事業選考委員会	1名

5. 健康教育・講演活動（生と性の健康教育）

対象	回数	講師（実数）
小学生	66回	5名
中学生	21回	3名
高校生	2回	1名
特別支援学校	6回	1名
保護者・PTA・その他	6回	3名

6. 地区助産師活動

松戸市：親子DE広場（相談・講座）、松戸市子育てフェスティバル2025参加・2026実行委員会
ファミサポ出生直後の支援員研修（講師）

流山市：南流山児童センターすこやか広場（講座）、子育て支援センターてるてる（講座）、子育て支援センターことこと（講座）、子育て支援センターぼっかぼか、エンカナルプロジェクト（えか自然農場活動参加）、親子サロンBLOOM（講座）、ALFALINK 流山防災フェア2025、
防災万博 inNagareyama、小学校防災教室

我孫子市：Babyのびのび親子学級（我孫子市公民館）

柏市：はぐはぐフォーラム2026参加、さわやかサービス産前産後研修、
市民健康づくり推進員連絡協議会全体研修会講師

令和7年度 第1地区 活動報告 No.2

定例会開催：7回

目標	事業	結果および評価
1. 会員同士の結束を図り、お互いの知識や技術の向上を図る	1) 定例会の開催 2) 研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインを中心に会員との繋がりを保った。3名の新規入会者がおり、今後もっと繋がりを深めていくことが課題。定例会の参加者がいつも決まったメンバーになるため、各々が多忙な中での参加しやすい工夫が必要。 ・会員内で性教育についての関心が高まり、各月で文献の読み合わせと意見交換をし、知識が高まった。
2. 地域に密着した、助産師ができる保健活動を行う	1) 子育て・女性の健康支援 2) 我孫子市ウェルカムベビー学級 3) 産後ケア 4) 他職種連携	<ul style="list-style-type: none"> ・会員各自が、活発に活動した。 ・松戸市子育てフェスティバル2025、はぐはぐフォーラム2026に参加した。 ・国際助産師の日イベントが大変盛り上がり、地域の繋がりと地区会員の結束が強まった。 ・円滑な運営のための我孫子市との連絡・調整・情報交換をし、スムーズな運営がなされた。 ・委託された市との連絡をとり、会議を行い良いケアを提供した。 ・地区として他職種への講師を依頼、個人の活動でも積極的に連携を図った。
3. 健康教育を充実させる	1) 性の健康教育事業	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼先への講師派遣・連絡調整し実施した。 ・実施後の報告、統計をまとめた。 ・教材管理をした。 ・意見交換をした。 ・性の健康教育の研修会へ各自参加した。
4. 災害に備え、母子の災害時支援をする。	1) 災害対策 2) 災害時母子支援	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の開催予定を公開し、見学を募集した。 ・災害対策についての研修会に出た。 ・松戸市の防災訓練や流山市の防災イベントに参加した。 ・松戸市・柏市と協定内容等について再確認する話し合いの場を持った。 ・流山市と協定を結ぶために市議会議員との会議の場を持ち、締結への第一歩となった。

令和7年度 第2地区 活動報告 No.1

地区名：市川・浦安地区

地区部会長：塩見良子

会員数：40名

1. 定例会開催 年6回

2. 研修会

開催日	内容	講師
11月8日	産後ケアにおけるメンタルヘルス	木村病院院長 渡邊博幸氏

3. 行政および関連団体等の会議参加状況は49ページを参照。

4. 行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
浦安市助産師相談	7名	市川市産後ケア事業	6名
浦安市子育て支援(6か所)	11名	市川市母子保健推進協議委員	1名
浦安市特別支援学校性教育講師	1名	市川市STD対策推進協議会委員	1名
浦安市社会福祉協議会評議員	1名	浦安市災害医療対策会議委員	1名
浦安市ファミリーサポート基礎研修講師	4名	災害時小児周産期リエゾン	1名

5. 健康教育・講演活動（生と性の健康教育）（期間2025年1月～12月）

対象	回数	講師（実数）
小学校	26回	4名
中学校	14回	4名
特別支援学校	3回	1名
専門職・教員	0回	0名
保護者・社会人	0回	0名

6. 地区助産師活動

- ・市川市産後ケア会議
- ・その他各種会議
- ・浦性研(4回/年)
- ・中学校福祉イベント協力

7. その他

- ・東京ベイ・浦安市川医療センター前医療救護活動合同訓練視察(10月25日)

令和7年度 第2地区 活動報告 No.2

定例会開催：6回

目標	事業	結果および評価
1. 会員同士の結束を図り、知識技術の向上を目指す。	1) 定例会開催 2) 研修会開催 3) 地区会員の地区会や地区活動の見学や参加への働きかけ 4) 会員の増員を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月毎の定例会の開催はZOOMを併用し、参加しやすいよう工夫した。新しい会員と顔の見える関係づくりに努めた ・「産後ケアにおけるメンタルヘルス」の研修会を行い、新しい学びとなった ・情報共有と伝達講習を行った ・地区会や地区活動前にLINEやメールにて参加呼びかけを行い、欠席者には議事録をメール・郵送をした ・会員の働きかけにより新規会員が増員
2. 地域・所属を超えたネットワークの構築	1) 社会福祉協議会との連携 ・研修会講師としての参加 2) 他職種との交流・連携を深める ・STD対策推進協議会 ・母子保健推進協議会 ・浦安市災害医療対策会議委員	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会評議員として1名参加している ・ファミリーサポートセンター基礎研修講師として4名参加 ・子育て支援事業・性教育講師として参加 ・市川市STD対策推進協議会、母子保健推進協議会、浦安市災害医療対策会議委員に各1名ずつ参加 ・他職種との情報交換を積極的に行い、協力して母子支援を行っている
3. 地域に密着した母子保健活動を積極的に行う	1) 地域子育て支援事業への協力 2) 行政の母子保健事業に協力 ・浦安市母子保健課 ・市川市産後ケア事業 3) 健康教育・講演会への講師派遣・健康教育	<ul style="list-style-type: none"> ・例年通り、公民館と連携して子育て支援事業を行なった ・健康教育の質の向上のため研修会に参加し自己研鑽に努めた ・講師ができる人材を育成中
4. 本部・千葉県助産師会事業への参加・協力	1) 「助産師の無料電話相談」に協力 2) 研修会の参加協力 3) 国際助産師の日の参加・協力	<ul style="list-style-type: none"> ・電話相談員として2名参加 ・部会を超えた研修会へ参加した
5. 災害に備える	1) 浦安市との災害協定継続 2) 災害時迅速な対応ができる準備 3) 他職種との防災連携	<ul style="list-style-type: none"> ・浦安市との協定書の確認を行なった ・連絡網の見直しと会員の安否確認をした ・自治体等と連携して災害時に母子福祉避難所の開設を目指す

令和7年度 第3地区 活動報告 No.1

地区名：船橋地区

地区部会長：伊藤志保

会員数：42名

1. 定例会開催 年5回

2. 研修会

開催日	内容	講師
12月7日	赤ちゃんのからだケア	中野 智彰氏 松丸 寛氏

3. 行政および関連団体等の会議参加状況は49ページを参照。

4. 行政への協力事業

内容【船橋市】	協力人数	内容	協力人数
4か月児健康相談	12名	鎌ヶ谷市4か月児健康相談	1名
1歳6か月児健診	10名	鎌ヶ谷市ウェルカムベビースクール	1名
3歳児健診	9名	鎌ヶ谷市妊産婦・新生児訪問	3名
養育支援訪問	5名	鎌ヶ谷市産後ケア事業	4名
不妊不育専門相談	2名	市川市産後ケア事業	5名
パパママ教室	9名	習志野市産後ケア事業	2名
妊産婦・新生児訪問	13名	印西市産後ケア事業	1名
産前産後サポート事業	10名	白井市産後ケア事業	2名
産婦健診事業	4名		
産後ケア事業	10名		
子育て支援事業（公民館・児童ホーム・子育て支援センター）	7名		

5. 健康教育・講演活動（生と性の健康教育）（期間2025年1月～12月）

対象	回数	講師（実数）
小学生	1回	1名
中学生	47回	3名
高校生	1回	1名
保護者	2回	4名

6. 地区助産師活動

10月19日 「子育て応援メッセ2025inふなばし」に参加

11月2日 「ふなばし健康まつり」に参加

7. その他

7月15日、11月21日、2月27日 船橋市地域保健課と災害時対応について話し合い

令和7年度 第3地区 活動報告 No.2

定例会開催：5回

目標	事業	結果および評価
1. 会員同士の結束を図り、お互いの知識や技術の向上をめざす。	1) 定例会の開催 (1) 理事会報告等の連絡 (2) 研修会の開催 2) 地区便りの発行、配布 3) 地区会員増加への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 定例会はすべて対面で行い、交流を図った。病院勤務や助産院の会員にも積極的に声をかけて交流会を開催し、情報交換ができた。 研修会を開催し、保健指導や訪問時にすぐに活かせる内容で、好評であった。 地区だよりを発行し、会員の親睦に努めた。 非会員へ入会案内を行い、4名の新入会があった。
2. 地域に根ざした母子保健活動を行う。	1) 行政の母子保健事業に協力 2) 健康教育・講演会に講師を派遣し、地域の子育て支援に協力	<ul style="list-style-type: none"> 例年通り、母子保健事業に協力した。 産後ケアは需要が増えている。訪問型産後ケア実施マニュアルを作成し、安全で望ましいケアができるように、手順・支援のポイント・注意事項・緊急時の対応などを確認した。 引き続き、担当者や従事者同士の連携を図り、協力していきたい。 中学校・高校の健康教育に講師を派遣した。 子育てイベントや健康まつりに参加した。 子育て支援センターで授乳相談を行い、高評価を得たため、次年度も継続することが決まった。
3. 災害に備え、体制を整える。	1) 災害時に落ち着いて行動できる体制作り 2) 災害時、行政と連携し母子支援活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 委員会が実施する災害時シミュレーション訓練に参加した。安否確認の返信率は全体では92.5%、グループLINEでの返信率は100%であった。今後も顔が見える関係づくりを心掛けていくとともに、災害時のグループLINEの登録を促していく。 担当課と話し合いを持ち、覚書の内容検討、災害時の連絡方法や支援時の保険の確認を行った。
4. 千葉県助産師会が行う事業への参加協力をを行う。	1) 「助産師の電話無料相談」に協力 2) 研修会への参加 3) イベントや事業への協力	<ul style="list-style-type: none"> 「助産師の電話無料相談」に2名協力した。 部会を超えて研修に参加した。 他地区の産後ケア事業に協力した。

令和7年度 第4地区 活動報告 No.1

地区名：習志野・八千代・鎌ヶ谷地区 地区部会長：金子みゆき 会員数：35名

1. 定例会開催 7回

2. 地域交流会

開催日	内容
12月5日	地域における産後ケアの現状

3. 行政および関連団体等の会議参加状況は49ページを参照。

4. 行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
八千代市ハローベビークラス	4名	習志野市幼児家庭教育学級	1名
八千代市公民館育児講座	1名	習志野市PTA家庭教育学級	1名
八千代市産後ケア事業	11名	習志野市育児講座	2名
習志野市産後ケア事業	13名	船橋市家庭教育セミナー	3名
鎌ヶ谷市産後ケア事業	13名	船橋市公民館	1名

5. 健康教育・講演活動（生と性の健康教育）（期間2025年1月～12月）

対象	回数	講師（実数）
就学前	2回	2名
小学生	56回	3名
中学生	12回	1名
高校生	4回	1名
大学	1回	1名
PTA 保護者（保育士・教員合同2回含む）	11回	2名
公民館	11回	2名
フリースクール	7回	1名
有志（親子）	2回	1名
チャイルドライン相談員養成講座	2回	1名

6. 地区助産師活動

スタジオアリスマタニティーセミナー、アウトリーチ型産後ケア事業（八千代・習志野・鎌ヶ谷）
 習志野保健所母子保健推進協議会会議、習志野市防災訓練参加・防災会議、
 八千代市小中義務教育学校思春期保健教育推進会議、八千代市健康まちづくりプラン推進・評価
 委員会会議、習志野市社会教育委員

7. その他

アウトリーチ型産後ケア打ち合せ

習志野市（10/6.2/6）・八千代市（2/18）・鎌ヶ谷市（10/10.2/26）

令和7年度 第4地区 活動報告 No.2

定例会開催：7回

目標	事業	結果および評価
1. 会員同士の交流を図り、お互いの知識や技術の向上に務める	1) 定例会の開催 2) 地区会員の定例会への参加を働きかける 3) 研修会の開催 4) 地域関係機関と交流	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会はオンライン5回、対面2回行う ・定例会開催連絡、議事録送る ・年度初めに年間開催日を伝える ・毎回定例会開催前に案内の連絡 ・開催できず ・八千代医療センター、習志野保健所、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市を交えて交流会開催した
2. 地域に密着した母子保健・健康支援活動を行う	1) 子育て支援 2) 行政の事業に協力 (1) プレママ教室 (2) 母子保健会議 3) 産後ケア事業 4) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・会員各自が各々地域にて行う。 ・公民館、小中学校にて健康講座の実施。 ・八千代市ハローベビー教室、年8回、各2講座開催 ・習志野母子保健推進協議会に委員として1名参加 ・習志野・八千代・鎌ヶ谷市訪問型産後ケア事業実施（鎌ヶ谷市は2地区から2名協力） ・各市で話し合いを行なう。 ・八千代市健康まちづくりプラン推進評価委員会に委員として1名参加 ・船橋市家庭教育セミナーに協力
3. 健康教育活動の充実	1) 「生と性の健康講座」開催	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に講座内容検討会議を開催。 ・各自で知識の向上に努める。 ・講師育成 ・講座依頼増加。 ・八千代市思春期ネットワーク会議参加
4. 災害に備える体制を整える	1) 災害時速やかに行動できるための準備 2) 災害時、行政と連携し支援活動ができる体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県災害シミュレーション訓練の参加 ・協力員11名 ・千葉県九都県市災害訓練参加 ・習志野市防災訓練参加・会議出席
5. 千葉県助産師会事業の参加	1) 助産師による電話無料相談協力 2) スタジオアリス	<ul style="list-style-type: none"> ・相談協力員2名 ・電話相談員として研鑽する ・協力員6名 ・8件の依頼

令和7年度 第5地区 活動報告 No.1

地区名：印旛地区

地区部会長：根本由起子

会員数：49名

1. 定例会開催 年4回

2. 研修会

開催日	内容	講師
7月11日	性教育講師育成プロジェクト (小学2年生、中学3年生の講座デモンストラーション)	武藤真衣さん 美坂由布子さん
9月19日	赤ちゃんの眠りについて オンライン	清水悦子先生
11月28日	母乳育児について	杉山ふく子先生

3. 行政および関連団体等の会議参加状況は49ページを参照。

4. 行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
印西市産後ケア事業	3名	酒々井町マタニティ教室	2名
佐倉市産後ケア事業	5名	成田市健康・福祉まつり	10名
酒々井町産後ケア事業	3名	印西市防災訓練	4名
成田市産後ケア・訪問事業	5名	佐倉市防災訓練	6名
八街市産後ケア事業	2名	白井市防災訓練	4名
四街道市産後ケア事業	4名	成田市防災訓練	2名
成田市母親学級・パパママクラス	3名	四街道市防災訓練	2名

5. 健康教育・講演活動（生と性の健康教育）（期間2025年1月～12月）

対象	回数	講師（実数）
小学生	9回	3名
中学生	19回	5名
高校生	2回	2名
PTA 保護者 園児	3回	3名

6. 地区助産師活動

- ・スタジオアリス マタニティセミナー
- ・四街道市 訪問事業、乳児健診、マタニティケア、中学校性教育
- ・八街市 訪問事業、マタニティ教室
- ・栄町 産後ケア事業、訪問事業、妊活相談、マタニティクラス
- ・富里市 訪問事業、プレパパママ教室、産前&産後ママヨーガ・ベビーヨーガ
- ・通所型産後ケア事業：多古町、茨城県行方市、印西市、酒々井町、成田市
- ・白井市 プレパパママスクール ・市川市 プレ親学級、YouTube 講座
- ・睦沢町 母親教室、女性のためのヨーガ講座、ベビーマッサージ and ママヨーガ教室
- ・長生村 ママパパ教室、産後のベビー&ママヨーガ教室、
- ・長南町 産後のママ and ベビーマッサージ教室 ・柏市 たまご学級
- ・成田市子育て支援センター三里塚なかよしひろば ・成田市母子手帳発行

令和7年度 第5地区 活動報告 No.2

定例会開催：4回

目標	事業	結果および評価
1. 会員の交流を図り知識・技術の向上に努める	1) 定例会の開催 2) 研修会を開催 3) 会員の満足度を高める 4) 会員の増加に努める	1) 定例会の開催(7月・11月・1月・3月) 2) 研修委員が中心となり3回の研修会を開催 3) 定例会や研修会等対面での交流を多く持ち、意見を出し合ったり、実技を行うなどができた。研修会のアンケートでは満足度の高い言葉が多かった。また、今後の要望も多く寄せられたので、次年度以降の計画へ活かしていく。 4) 研修会へ会員外の方への声掛けを行い参加していただいた。
2. 地域に密着した保健指導を行う	1) 行政の母子保健事業への協力 2) 健康教育・思春期講話の充実を図る	1) 行政での母親学級、新生児訪問、赤ちゃん訪問、産後ケア事業等を実施。 2) 成田市の健康福祉まつりに10名が参加しベビーマッサージを実施。計51組の方々と触れ合うことができた。 3) 小中高校や保育園等33カ所への性教育や講話を実施。 4) 講師育成研修を行い、2名の講師が増えた。
3. 災害に備える	1) 災害時に速やかに行動がとれるための準備 2) 協定市との連携を図る 3) 協定市の災害訓練への参加	1) 幸いなことに災害はなかった。 2) 協定市は、地区内6市となった。 印西市・佐倉市・白井市・成田市・八街市・新たに四街道市と1月より話し合いを進め7月28日に締結式を行った。 3) 防災訓練へ参加 印西市 10/19 佐倉市 10/5・11/24 白井市 2/1 成田市 11/8 四街道市 10/25 八街市 なし 4) 印西市災害時保健活動訓練 11/17 へ参加 災害に関する会議への参加も含め延べ33人
4. 千葉県助産師会の事業への参加・協力	1) 県研修会・イベントへの参加	1) 県研修会へ各自参加 2) スタジオアリスセミナーへの協力 3) 電話相談協力員としての協力 4) 電話相談協力員増員の声掛け 5) 100周年記念事業への協力

令和7年度 6・8地区 活動報告 No.1

地区名：香取・海匠・山武・長生・夷隅地区 地区部会長：白倉美智子 会員数：22名

1. 定例会開催 年4回
2. 研修会なし
3. 行政および関連団体等の会議参加状況は49ページを参照。
4. 行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
香取市・両親学級	1名	大網白里市・産後ケア	3名
香取市・新生児訪問	1名	茂原市・新生児訪問	4名
東庄町・両親学級	1名	茂原市・産後ケア	4名
東庄町・新生児訪問	1名	一宮町・産後ケア	1名
東金市・母親学級	1名	白子町・母親学級	1名
東金市・多胎児サロン	1名	白子町・産後ケア	1名
東金市・子育てサークル	1名	長生村・産後ケア	1名
東金市・産後ケア	3名	長南町・産後ケア	1名
山武市・両親学級	2名	いすみ市・新生児訪問	1名
山武市・新生児訪問	2名	いすみ市・産後ケア	1名
山武市・産後ケア	2名	睦沢町・両親学級	1名
横芝光町・産後ケア	1名	睦沢町・新生児訪問	1名
芝山町・産後ケア	1名	睦沢町・産後ケア	1名
九十九里町・産後ケア	2名	長柄町・産後ケア	1名
九十九里町・ <small>こども</small> 赤ちゃん訪問	1名		

5. 健康教育・講演活動（生と性の健康教育）（期間2025年1月～12月）

対象	回数	講師（実数）
小学生	6回	2名
中学生	6回	2名
保護者	1回	1名

6. 地区助産師活動

- ・山武市要保護児童対策地域協議会代表者会議（5/20）・山武保健所母子保健推進協議会
- ・山武管内母子保健連絡会議（9/8）
- ・長生保健所母子保健推進協議会・香取保健所母子保健推進協議会
- ・九都県市合同防災訓練（10/19）・大網白里市総合防災訓練（11/9）

7. その他

- ・山武市 「災害協定に係る覚書」の変更（4/1）
- ・山武管内における産後ケア委託料金の値上げを要望

令和7年度 第6・8地区 活動報告 No.2

定例会開催：4回

目標	事業	結果および評価
1. 会員 同士の交 流を図り 知識や技 術の向上 に努める	1) 定例会の開催 2) 地区研修会の開催 3) 会員の地区会参加への 働きかけ 4) 地区会員増員への働き かけ 5) 健康教育の講師育成	1) 全て Zoom だった定例会を対面と半々に変 更。 齋藤葉子氏によるお話会（勤務時代の体験 談）を拝聴し、食事会も兼ねて親睦を図つ た。 2) 地区研修会は開催に至らなかった。 3) 報告・連絡事項はメール・LINE の他に電 話・郵送により全会員への周知に努めた。 会員から1名が開業し地区活動への参加メン バーが増えた。しかし、入退会があるので実 質的な活動人数については増減がみられなか った。 4) 非会員への働きかけまでには至らなかった。 5) 健康教育の講師増員には至らなかった。
2. 地域 に密着し た母子保 健活動を 行い地域 との連携 に努める	1) 行政母子保健事業への 協力 2) 城西国際大学祭への参 加（許可のあった場 合） 3) 健康教育・講演会への 講師派遣	1) 両親学級・新生児訪問・産後ケア事業などへ の協力実施。 ・母子保健関係会議や研修会への参加 2) 大学祭への参加は無し（大学の参加許可は得 られたが防災訓練と同日だったため） 3) 依頼を受け講師派遣実施
3. 県助 産師会事 業への参 加・協力 を行う	1) 電話相談事業に協力 2) スタジオアリス・マタ ニティーセミナー協力 3) 国際助産師の日イベン トへの協力	1) 2名が電話相談員として協力した 2) スタジオアリス・マタニティーセミナー3回 実施。対象者が拡大したのでキャンセルは無 くなった。対象者によって臨機応変に対応し た。 3) チラシを職場などに張ってPRに努めた。
4. 災害 対策を整 える	1) 災害時の対応について 検討 2) 災害訓練への参加	1) 災害協定の見直しを実施。結果、山武市につ いては4/1から災害協定の覚書を変更した。 2) 災害訓練時、地区会員へはグループLINEと メール（一部電話）にて安否確認と情報収集 を実施。 ・九都県市合同防災訓練に1名参加 ・大網白里市合同防災訓練に5名参加（他地区 から1名参加協力含む） ・地区用の防災リュックを準備した

令和7年度 第7地区 活動報告 No.1

地区名：千葉地区

地区理事：菅谷厚子

会員数：51 名

1. 定例会開催 年 12 回

2. 研修会

開催日	内容	講師
7月17日	「AIDをめぐる夫婦の課題～女性の立場から考えること～」	寺山なつ氏
9月29日	「周産期メンタルヘルスにおける助産ケアの実際～千葉市助産師会の取り組み～」	川島広江氏
11月17日	「DV・離婚・子ども 法的支援の現場から」	馬場 望氏
12月3日	「プレコンセプションケアを考える～医師・患者の立場から～」	Satoko Fox 氏
2月24日	「周産期メンタルヘルスは一次予防の大切な土壌」	榎原雅代氏
ミニ学習会 症例検討会 など	6/4 「個人情報の適切な取り扱いについて」	
	7/16 「会員同士の情報交換・交流会」	
	8/8 「土日両親学級にて不安の訴えがあった妊婦への継続的な関わり」	菅谷厚子氏
	10/14 「モラハラ夫の相談事例」	渡辺佐智子氏
	1/13 「国際セクシュアリティ教育ガイダンスに見るジェンダーと暴力の学び」	川島広江氏
	2/10 文献学習「ネットレ」	渡辺佐智子氏

3. 行政および関連団体等の会議参加状況は 49 ページを参照。

4. 行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
土日開催の両親学級	15 名	不妊専門相談（面談）	2 名
母親&父親学級（平日）	17 名	不妊専門相談（電話）	3 名
パパも学ぼう母乳教室	11 名	思春期保健事業	2 名
女性の健康相談	7 名	新生児・妊産婦訪問指導員	10 名
産後ケア事業（委託助産院）	15 名	包括支援センター相談員	3 名

5. 健康教育・講演活動（生と性の健康教育）（期間 2025 年 1 月～12 月）

対象	回数	講師（実数）
小学校	22 回	4 名
中学校	40 回	2 名
高等学校	3 回	1 名
保護者・社会人・他	31 回	2 名
千葉市助産師会主催	7 回	6 名

6. 地区助産師活動

- ・いのちの講座「親・支援者が学ぶ子どもの性教育」5/17(会場 6 名 LIVE10 名録画配信 30 名)
- ・「赤ちゃんのお世話練習大会」年間 6 回開催
- ・「健やか未来都市ちばプラン市民健康づくり大会」参加 10/18
- ・「イオンタウンおゆみ野防災フェア」参加 11/9 ・木村病院「助産師外来」開設

7. その他 日本助産学会幕張メッセ国際会議場開催 11/15 11/16（協力員 11 名）

令和7年度 第7地区 活動報告 No.2

定例会開催：12回

目標	事業	結果および評価
1. 母子保健知識の普及・生命の大切さの普及・女性の健康支援を行う	1) 土日両親学級 (千葉市委託事業) 2) 不妊専門相談事業〔電話相談〕(千葉市委託事業) 3) 「いのちの講座」開催 4) 妊娠期準備クラス 5) オンライン事業 6) 千葉県母子保健事業 7) 関連施設との連携 8) 千葉市のイベント参加 9) 千葉県助産師会事業	<ul style="list-style-type: none"> ・21回開催(第1回：12回 第2回：9回) 第2回はキャンセル待ち受付を設定した。 ・毎週木曜日 15:30～20:30 年間48回の電話相談を3名で担当した。研修会を開催した。 ・公開講座、親子で学ぶ講座Ⅰ(4回) 親子で学ぶ講座Ⅱ(2回) 大人が学ぶ講座(1回) 開催 ・小学校の依頼により出張講座を行った。 ・「赤ちゃんのお世話練習大会」を定期開催した ・温♡line 講座“親になるクラス”を配信した。 ・各事業へ講師及び相談員を推薦した。 ・母親学級46回・母乳教室26回・女性の健康相談36回・不妊専門相談〔面談〕15回・思春期保健事業 ・千葉県産後ケアに委託助産院15名が協力した。(訪問型・日帰り型・宿泊型) ・産科1施設の産褥2週間健診訪問を6名で担当した。 ・精神科1施設と連携し妊産婦の訪問要請に応えた。月1回カンファレンスを開催した。「助産師外来」の開設運営を開始した。 ・市民健康づくり大会に6名が参加協力した。 ・電話無料相談員(11名)、スタジオアリスマタニティセミナー講師(7名)
2. 助産師の知識・技術を高める	1) 研修会の開催 2) 事例検討会・学習会開催 3) 学生実習協力	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県母子保健事業業務委託研修会を3回開催した。不妊専門相談事業研修会を2回開催した ・定例会を活用し、事例検討会、ミニ学習会を行い会員の知識を深めた。 ・東京情報大学看護学部実習に7名協力した。 ・淑徳大学看護栄養学部看護学科実習に2名協力した
3. 組織を強化し、運営を円滑に行う	1) 運営に関する会議 2) 助産師活動の広報 3) 会員の増加を目指す 4) 災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・総会を6月に開催・定例会を毎月開催し会員に議事録を配布。会員LINEにて情報共有した。 ・ホームページの更新、Instagramの活用、リーフレットを改訂し配布した。 ・企業の開催する防災フェアに参加協力した。(イオンタウンおゆみ野)

令和7年度 第9地区 活動報告 No.1

地区名：市原・君津・安房地区

地区部会長：小柴和子

会員数：42名

1. 定例会開催 年5回

2. 研修会

開催日	内容	講師
9月25日	陥没乳頭のケア～飲めないのはお母さんのせい？～	松原まなみ先生
11月20日	HPV ワクチン勉強会	長尾聡一郎先生
1月18日	個人情報保護に関する映像資料の視聴	——

3. 行政および関連団体等の会議参加状況は49ページを参照。

4. 行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
新生児訪問	8名	母親・パパママ教室	2名
乳幼児健診・相談	4名	九都縣市合同防災訓練	5名
妊娠・出産・子育てサポート事業	2名	市原市総合防災訓練参加	7名
産後ケア従事者	18名	講演活動	3名

5. 健康教育・講演活動（生と性の健康教育）（期間2025年1月～12月）

対象	回数	講師（実数）
小学校	5回	2名
中学校	3回	1名
高校	1回	1名
大学	1回	1名
PTA・保護者	1回	1名
養護施設	0回	0名
社会人	0回	0名
教員	1回	1名
公民館・女性センターなど	0回	0名

6. 地区助産師活動

- ・九都縣市防災訓練参加（10月19日）
- ・周産期保健に関する連絡（11月25日）
- ・市原市：母子保健推進協議会（2月8日）
 いちほら健倅まちづくりプランすこやか親子ワークショップ（7月3日）
 総合防災訓練（11月2日） 健康づくり推進協議会（9月17日）
- ・君津地域：母子保健推進協議会（君津保健所、君津保健福祉センター）
- ・安房地域：母子保健推進協議会（安房地域保健福祉センター）

令和7年度 第9地区 活動報告 No.2

定例会開催：5回

目標	事業	結果および評価
1. 会員同士の交流を図り、地域に密着した母子保健活動・健康支援活動を行う。	1) 定例会の開催 2) 地域母子保健事業への協力 (1) 新生児訪問等 (2) 子育て関連事業 (3) 産後ケア (4) 連絡会議・研修会 (5) 思春期健康教育事業	・総会1回、定例会5回を開催し、専門性向上と情報共有を図った。出席率向上を目的に、定例会と併せて勉強会を企画・実施し、参加への動機づけとした。各事業における協力員の確保・調整を行い、円滑な運営体制づくりに努めた。
2. 会員各自の知識・技術の向上に努める。	1) 研修会の開催 2) 事例検討会・学習会 3) キャリアアップ支援	・9/25 松原まなみ氏を講師に迎え、「陥没乳頭のケア」に関する研修会を開催し、アーカイブ配信により地区外からの参加も得た。アーカイブのみも含め79名参加。 ・11/20 長尾聡一郎氏を講師に迎え、「HPV ワクチン」をテーマとした研修会を開催した。(当日13名、後日配信) 1/18の定例会では、個人情報保護に関する映像資料を視聴し、日頃の業務での工夫について意見交換を行った。(15名参加) ・定例会を活用し、事例検討、実践報告、意見交換を継続的に実施した。 ・健康教育や講演活動の見学を促し、1名が参加した。
3. 県助産師会事業への参加・協力	1) 電話相談事業 2) 国際助産師の日・研修会・イベントや事業等協力	・助産師による電話無料相談事業を運営し、相談員7名が参加した。 ・スタジオアリスマタニティセミナー講師3名、市原市総合防災訓練に7名、9都市合同防災訓練に5名が参加した。
4. 組織の強化と運営の円滑化を図る。 定例会出席会員数の向上	1) 運営に関する会議 2) 他機関との連携 3) 災害対策	・総会および定例会を開催し、会則(規約)の見直しを行い、組織運営の基盤整備を進めた。関係機関との連携については継続して協議を進めている。災害時対応力強化を目的に、県の災害シミュレーションや市原市総合防災訓練に参加し、地域との連携を深めた。訓練を契機とした市議からの要望により、令和8年3月1日に八幡公民館での出展を予定している。

4. 専門部会報告

1) 助産所部会

2) 保健指導部会

3) 勤務助産師部会

1) 令和7年度 助産所部会 活動報告

部会長 米丸充咲

委員 小柴和子、田中弘美

1. 部会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
4月27日(日) 助産所部会 (対面)	1. 今年度の日程 2. 今年度の安全管理訪問について	・偶数月第4水曜日の午後1時30分よりZoom、12月のみ対面開催 ・今年度はZoomで行う。それぞれの日程調整確認。	米丸、小柴、武田、的場、根岸、進藤、巻田、菅谷、大牟田
6月25日(水) 助産所部会 (Zoom)	1. 8月研修 2. 安全管理訪問 3. 嘱託医問題の解決について	・現在AM10名、PM8名、募集中。 ・Zoomで行うため、評価表は各自準備 ・静岡県では嘱託医問題をクリアして分娩で開業している助産師が増えていいる。研修会を企画してはどうか。未来の助産院のために。	米丸、小柴、田中、的場、根岸、進藤、巻田、菅谷、大牟田、佐藤
6月30日(月)	1. 安全管理訪問	・若草助産院 ①Zoom	米丸、山中
7月16日(水)	1. 安全管理訪問	・助産院ゆい ②Zoom	米丸、的場
7月29日(火)	1. 安全管理訪問	・助産院ねむねむ ③Zoom	米丸、山中
8月27日(水) 助産所部会 (Zoom)	1. 8月研修報告 2. 安全管理訪問 3. 11月の研修企画	・AM13名、PM10名 アンケート、良い評価であった。 ・安全管理訪問の日程確認 ・研修企画の概要と確認	米丸、武田、的場、根岸、進藤、巻田、大牟田、的射場、小林
8月28日(木)	1. 安全管理訪問	・出張専門助産所菅谷 ④Zoom	米丸、山中
8月29日(金)	1. 安全管理訪問	・マタニティセンター武田助産院 ⑤ (Zoom)	米丸、的場
8月30日(土)	1. 安全管理訪問	・あびこ助産院 ⑥Zoom	米丸、清水
9月11日(木)	1. 安全管理訪問	・助産院アロマバース ⑦Zoom	米丸、的場
10月8日(水)	1. 安全管理訪問	・キミツナカノ助産院 ⑧Zoom	米丸、山中
10月16日(木)	1. 安全管理訪問	・さくら咲く助産院 (出張専門) ⑨Zoom	米丸、的場
10月22日(水)	1. 安全管理訪問	・みらい助産院 ⑩Zoom	米丸
10月22日(水) 助産所部会 (Zoom)	1. 11月の研修打ち合わせ 2. 安全管理訪問 3. その他	・現在の参加人数、役割分担 ・Zoomでスムーズに行えている。 ・部会と安全研修の参加を促す。全国分娩データシステムの入力をお願い。保険化について。	米丸、小柴、的場、菅谷、巻田、大牟田、的射場、大牟田
11月13日(木)	1. 安全管理訪問	・ひまわり助産院 ⑪Zoom	米丸
12月3日(水) 助産所部会 (対面)	1. 11月研修報告 2. 安全管理訪問について 3. 来年度の予定	・11名(助産所10名、勤務1名) ・全助産所Zoomで行った。 ・助産所の周知を行いたい。 ・嘱託医問題について考える。	米丸、田中、的場、武田、巻田、大牟田、小林

2月25日(水) 助産所部会 (Zoom)	1. 来年度の研修 計画を立てる 2. 引き継ぎ	・「愛されるために生まれてきた」上映会&シェア会の打ち合わせ ・来年度の活動内容の確認	米丸、小柴、田中、大牟田
-----------------------------	--------------------------------	--	--------------

2. 令和7年度 部会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 助産所ガイドラインを遵守した安全な助産所運営と質の向上に取り組む。	1) 分娩を扱う助産所の評価訪問は安全対策委委員1名を含む2名以上で行う。 2) 安全管理評価表を年度末に報告する。	1) 分娩を取り扱う11助産所の評価訪問を安全対策委員と共にZoomで実施。うち2件は助産所部会のみによる評価であった。 2) 嘱託医との契約が書面であり、特に異常時の手順、フローチャートが示してあり連携がとれていた。 3) 安全管理・感染管理・防災管理マニュアルがまとめられていた。 4) 医療機器の点検、備品の補充等を確認できた。
2. ヒヤリハット、インシデントアクシデント報告を促し、安全な助産所運営と質の向上に取り組む。	1) 定例会にて、グッチョブ、ヒヤリハット、インシデントアクシデント報告を共有し安全検討を行う。 2) 安全対策委員会と協力し、インシデントアクシデント報告を集計する。 3) 分娩件数を年度末に報告する。	1) 分娩、産後ケアの重大事故報告はなく安全に助産活動ができた。 2) 安全管理対策委員の方でインシデントアクシデント報告を確認した。 3) 助産所分娩58件、自宅分娩15件、合計73件、昨年度より3件減った。
3. 助産所の存在と自然分娩の周知を目指す。 助産院の開業を目指す助産師の研修を開催し、助産所部会員の増加を目指す。	1) 対面での研修会をR7年8月5日開催企画する。 2) 「分娩室でのリラクゼーションとフリースタイル分娩」講師：小柴和子 キミツナカノ助産院 3) 「妊娠中からの身体を整えるための骨盤ケア（初級編）」講師；米丸充咲 あびこ助産院 4) 「お産を取り扱う千葉県内の助産所の未来のために」R7年11月8日開催	1) R7年8月5日開催 千葉県生涯学習センターにて 2) 会員7名、非会員6名 災害時でも役立つ事を学ぶ。 3) 会員7名、非会員3名 安産につながる骨盤ケアを学ぶ。 4) 「お産を取り扱う千葉県内の助産所の未来のために」R7年11月8日開催、会員10名、非会員1名合計11名 5) 助産院を開業された方はいましたが、助産所部会会員の入会はなかった。

3. 次年度(令和8年度)課題

1. 定例会の出席率と安全研修の受講率を上げる。
2. 助産院の存在と自然分娩の周知を行う。

令和7年度 保健指導部会 活動報告

部会長 来田美鈴

委員 小椋利絵 神崎雅子 遠藤隆子

1. 部会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
4月27日(日)	1. 部会集会	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の産後ケアについて ・最近のトピック など 	来田、小椋、 神崎、遠藤
5月9日(金)	1. 6/29 骨盤健診研修会 2. 7/17 多胎家族支援研修会 3. BCP 作成 4. 12月交流会 5. 大潮執筆	<ul style="list-style-type: none"> ・6/29・7/17 役割担当決め ・講師との事前打ち合わせ ・BCP サンプル作成 ・交流会のテーマ決め ・大潮執筆者決め 	来田、小椋、 神崎、遠藤
6月13日(金)	1. 6/29 骨盤健診研修会 2. 7/17 多胎家族支援研修会 3. BCP 作成検討	<ul style="list-style-type: none"> ・6/29 研修会準備状況確認 ・7/17 研修会開催準備と講師との事前会議 ・BCP 作成研修会企画について 	来田、小椋、 神崎、遠藤
6月29日(日)	『恥骨痛・腱鞘炎に注意』～骨盤健診の重要性～研修会開催	<ul style="list-style-type: none"> ・講師 國吉裕史 先生 ・対面開催 ・参加者 19名 	来田、小椋、 神崎、遠藤
7月10日(木)	1. 骨盤健診研修ふりかえり 2. 7/17 多胎家族支援研修会 企	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会アンケート結果まとめ ・講師とのオンライン事前打ち合わせ 	来田、小椋、 神崎、遠藤
7月17日(木)	『産後ケアにおける多胎児家族支援』研修会開催	<ul style="list-style-type: none"> ・講師 西公子 先生 ・オンライン開催 ・当日参加者 26名 配信 6名 	来田、小椋、 神崎、遠藤
8月29日(金)	1. 多胎家族支援研修ふり回り 2. 産後ケア交流会準備 3. BCP 作成検討	<ul style="list-style-type: none"> ・7/17 研修会アンケート結果まとめ ・産後ケア交流会の開催内容の決定 ・産後ケア交流会事前アンケート ・BCP 作成研修会の企画 	来田、小椋、 神崎、遠藤
9月25日(木)	1. 産後ケア交流会準備 2. BCP 作成研修会準備 3. 助産師業務安全管理評価表 集計	<ul style="list-style-type: none"> ・産後ケア交流会役割分担と開催までの流れ ※安全対策委員会との合同開催 ・BCP 作成研修会講師依頼 ・助産師業務安全管理評価表集計について 	来田、小椋、 神崎、遠藤
10月24日(金)	1. 12/14 産後ケア交流会準備 2. 2/28 BCP 作成研修	<ul style="list-style-type: none"> ・12/14 当日担当決め ・交流会事前アンケート内容検討 ・BCP 研修会の開催準備について 	来田、小椋、 神崎、遠藤
12月5日(金)	1. 12/14 産後ケア交流会準備 2. 次年度の活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・12/14 参加予定と当日の流れ確認 ・次期委員の推薦について ・次年度の活動について 	来田、小椋、 神崎、遠藤

12月14日(日)	保健指導部会・安全対策委員会合同交流会「地域でちがう?!産後ケアあれこれ交流会」開催	<ul style="list-style-type: none"> ・産後ケアの安全について ・各地区の現状報告 ・参加人数 25名 	來田、小椋、神崎、遠藤
1月30日(金)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2/28 BCP作成研修会 2. 次年度の活動について 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会サポートについて ・次年度の活動計画 	來田、小椋、神崎、遠藤

2. 令和7年度 部会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. あらゆる場面で役立つ、助産師の実践的で質の高い保健師指導を行うための活動	<ol style="list-style-type: none"> 1) 保健指導に役立つ研修会の実施 産前産後の身体の見方や健康を保つための身体の使い方に関する研修 2) 千葉県助産師会員同士の顔の見える関係作りの強化 (1)対面での交流会開催 (2)部会メーリングリストを活用した情報交換 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 2回の研修会を実施した。どちらも様々な立場での保健指導に役立つ内容になった。 2) 総会時の全体部集会和産後ケア交流会を対面で実施した。対面で開催することで、会員の現状把握と会員間交流が深まった。
2. 産後ケアガイドライン（令和6年10月）に沿った産後ケアを実践する	<ol style="list-style-type: none"> 1) 安全で質の高い産後ケアを実践する (1)産後ケアガイドラインを周知徹底する (2)産後ケアに活用できる研修会の開催 2) 行政との連携を図る (1)行政との信頼関係を構築しネゴシエーション行う (2)千葉県内統一した産後ケアが提供できるよう県に働きかける 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 産後ケアに活用できる研修会を開催した。研修会において、産後ケアガイドラインの周知は行ったが、まだ不十分であった。 2) 各市町村において、行政との話し合いを継続的に実施している。千葉県には要望書にて、県内統一した産後ケアの構築を働きかけているが、実現には至っていない。
3. 保健指導型助産院のBCP作成を推進し、災害時にも対応出来る助産院運営を促進する	<ol style="list-style-type: none"> 1) 保健指導型助産院のBCPのサンプルを提示し、それぞれの助産院での作成の普及を図る (1)日本助産師会BCP作成ガイドラインを参考にする 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 2月28日に、保健指導型助産院のBCP作成研修会を開催した。

3. 次年度（令和8年度）課題

- 1) 地域における助産師の活動をより推進していく。
- 2) 多様な家族に対応した、安全で質の高い産後ケアを提供する。

3) 令和7年度 勤務助産師部会 活動報告

部会長 山中 真弓

委員 大久保 洋子 (副部会長)

大江 朋子 (会計)

1. 部会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
5月 メール会議	1. 第1回研修会打合せ 2. アンケート調査計画 3. 大潮原稿執筆 (担当: 大久保)	1) 研修会について ・内容、方法の決定 ・ポスター作製 ・広報活動計画 2) アンケートについて ・内容、方法の決定 3) 大潮原稿作成	大久保 大江 山中
6月～8月 メール会議	1. 研修会広報依頼について	・広報依頼 ・講師との調整	大久保 大江 山中
8月25日(月) オンライン	1. 第1回研修会打合せ	・第1回研修会役割分担 ・進行、オンデマンド打合せ ・事後アンケート、受講証の作成	大久保 大江 山中
9月 メール会議	1. 研修会中止に関すること	・理事会報告 ・参加者広報手配 ・返金対応 ・研修会の中止に関する振り返り	大久保 大江 山中
9月15日(月) オンライン	1. 研修会中止に関する報告事項 2. 部会活動中間報告について 3. アンケート調査について	・振り返りと報告書のまとめ ・研修会中止に関する概要と振り返り報告 ・中間報告検討 ・アンケート調査について	大久保 大江 山中
メール会議	1. アンケート実施結果まとめ	・アンケート配信 ・結果の集計 ・アンケート結果まとめ	大久保 大江 山中
12月9日(火)	1. 調査結果の確認 2. 活動計画検討	・課題の抽出 ・活動計画の検討 ・令和7年度活動報告	大久保 大江 山中

1月	1. 調査結果報告 2. 次年度活動計画	・アンケート調査結果報告 ・次年度活動計画立案	大久保 大江 山中
----	-------------------------	----------------------------	-----------------

2. 令和7年度 部会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 切れ目ない産前・産後支援に向けた活動を支援する。	1) 「こころに寄り添うケア」研修会の開催が諸事情により中止となった。 2) 助産師安全管理評価表について	1) 予定された研修会は実施できなかったが中止に関する概要と振り返りを行い、今後の対策を含め報告を行った。 2) 地区、部会、病院等関連施設への広報活動を行い、参加希望者は33名であった。 3) 安全対策委員会と連携し、部会員にメール周知を図った。安全管理評価提出者は3名であった。
2. 勤務助産師同士がつながるために、勤務助産師のニーズの把握や助産師同士の交流を図る。	1) 勤務助産師に向けたアンケート調査を行い、会員のニーズを把握する。 ①キャリアアップ支援のための研修会を継続的に企画しているが、研修会への参加率が十分に伸びていない現状を踏まえ、より多くの会員が参加しやすい研修内容や開催方法を検討する。 ②勤務助産師部会の活動に対する会員の期待や意見を把握する。	1) 勤務助産師部会に所属する19名から回答を得た。回答者は年代・勤務先・雇用形態ともに幅広く、勤務助産師を取り巻く多様な勤務環境が反映されていた。特に研修参加の形態については、時間や勤務環境の制約を受けやすい勤務助産師の特性を反映し、オンデマンド形式への要望が最も高い結果となった。自由記述では、研修形式に関する希望のみならず、対面での横のつながりの希望や、アドバンス助産師制度への向き合い方、会費や資料形式への具体的な改善案など、現場のリアルな声が寄せられた。これらの回答から、勤務助産師が抱える日常的な課題と、部会への希望が示されていた。この現状を踏まえ、より多くの会員が参加しやすい研修内容や開催方法を検討する。また、アンケートの回収率の少なさを踏まえ、会員のモチベーションを高め、組織エンゲージメントをいかに育むかを検討していく。

3. 次年度（令和8年度）課題

- 1) より多くの会員のキャリアアップに向けて参加しやすい研修内容や開催方法の検討
- 2) 会員の交流を図る場の検討

5. 委員会活動報告

- 1) 教育委員会
- 2) 子育て委員会
- 3) 安全対策委員会
- 4) 災害対策委員会
- 5) 広報委員会
- 6) 将来構想検討委員会
- 7) 細則検討委員会
- 8) 生と性の健康教育委員会

1) 令和7年度 教育委員会 活動報告

委員長 山田万希子

委員 古賀千恵子, 石井恵美子, 五十部恵

増田文子, 戸村恵理

1. 委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
5月16日(金) 20:00~21:00 Zoom	第1回 会議 1. 委員連絡先・ 交通経路の確認 2. 委員任期確認 3. 2025年度研修会 分担表(案)・研 修会費について 4. 今後の予定確認	・委員の任期確認、連絡先と交通経路 確認 ・今年度委員会活動計画および教育 計画について ・2024年度予算について ・9月28日(日) NCPR Sコース研修 実施の確認 インストラクターお よび役割の確認 ・1月25日(日) 外国人母子の支 援に関する研修会	山田 古賀 石井 増田 戸村
6月3日(火) 対面	1. R5年度地区報 告会抄録の取り まとめ 2. 印刷依頼確認	・地区報告会抄録の内容確認 ・印刷場所の決定と予算確認	山田 石井
7月16日(水) 10:00~11:30 対面	1. 大潮封入作業 参加	・大潮封入作業参加 ・教育委員会 地区報告会資料封入 とチラシ封入	山田
7月30日(木) LINE	1. 無痛分娩に関す る研修会の打ち 合わせ	・計良和範先生と「無痛分娩を希望 する産婦への支援」内容, 進行の 打ち合わせ	山田 増田
8月12日(火) Mail	第2回 会議 1. 今後の研修会 予定について 2. 役割分担等	・NCPR 講習 ・無痛分娩に関する研修会 ・外国人母子支援の研修会 ・今後の予定について	山田 古賀 石井 増田 戸村 五十部
9月28日(日) 9:00~17:00 対面	1. NCPR Sコース 研修 2. 第3回 会議	・NCPR 講習の実施 AM4名, PM4名 ・今後の研修会実施計画について ・役割分担 ・次年度の計画について	山田 古賀 石井 増田 戸村
11月30日(日) 13:30~15:00 ZOOM	1. 研修会 2. 第4回 会議	・研修会「無痛分娩を希望する産婦へ の支援」実施 参加者22名 ・研修会の振り返り	山田 古賀 石井 増田 戸村

1月16日(金) 20:00~21:00 ZOOM	1. 第5回 会議	・研修会打ち合わせ ・次年度の計画について ・役割分担等	山田 古賀 石井 戸村
1月25日(日) 10:00~11:30 ZOOM	1. 研修会 2. 第6回 会議	・研修会「外国人母子支援」実施 参加者16名 ・研修会の振り返り	山田 古賀 石井 増田 戸村

2. 令和7年度 委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 助産師の継続教育として必要な研修会を開催する	1) 体系化した教育計画を立案する 2) 受講者のニーズを満たす研修会内容や研修方法を工夫する 3) 実施した研修会が継続教育に有効であったかを評価する	1) 無痛分娩を希望する産婦への支援研修をZoomにて実施し、無痛分娩の知識や実際を学んだ。外国人母子への助産ケア研修では、実践に即した支援の在り方を学ぶことが出来た。NCPR スキルアップ講習は少人数で行い、丁寧なご指導を頂けたと評価が高かった。 2) 研修はオンラインで実施し、実践に即した内容であり、参加者から多くの学びがあったとアンケートの記載を頂いた。 3) 研修は最新のデータを活用した講義であり、継続教育に有効であると考えられた。
2. 社会状況に対応可能な研修会の年間計画を立案・実施する	1) 他部会及び委員会と連携した体系的な教育計画を実施する 2) 社会状況を踏まえ、立案した教育計画を速やかに修正し運営する 3) 実施した研修会が継続教育に有効であったかを評価する	1) 他部会や委員会との連携は研修会計画を立案する際に考慮し日程調整を行ったが、研修会の日程は講師の都合等で配慮が難しい場合もあり、早めの情報共有が必要である。 2) Zoom の研修は多くの方の参加には有効であると考えられる。今後も内容によって、Zoom を活用した研修会を継続したいと考える。 3) NCPR 講習、講義による研修は助産師の継続研修として有効なものであったと評価する。今後も継続する。
3. 遠隔による効果的な委員会活動を実施する	1) 委員会メンバーの役割分担を整備し実施する 2) ZOOM、LINE、mail を使用し委員会メンバー間で情報共有する	1) 研修会前の会議において、役割分担を確認し実施した。研修は円滑に行えた。 2) 会議は、対面とZoomで行った。LINEやmailも活用し、会議は円滑に進行出来た。

3. 次年度(令和8年度)課題

- 1) 研修会後のアンケートを基に助産師会員の要望や必要とする研修会を企画・運営する。
- 2) 早期に研修会計画を検討し、周知を早めに行う。日本助産師会の掲示板を活用する。

2) 令和7年度 子育て委員会 活動報告

委員長 石井 智美

委員 小柴 和子、白井 亜紀子、太田 のぶ子、舛田 静恵

1. 委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
1月31日(金)	申し送り	<ul style="list-style-type: none"> 委員選出 次年度に向けての準備について 主な役割分担>転送担当、会計等 	
3月26日(水)	引継ぎ	<ul style="list-style-type: none"> 7地区より引継ぎ リマインド担当などの役割分担 	石井、小柴、志賀、舛田
4月6日(日) オンライン会議	担当相談員交替管理について 7月研修会について	<ul style="list-style-type: none"> 担当相談員が交替した場合の管理返信担当など決める 7月予定の研修会の内容、講師、日程、場所などを検討 	石井、志賀、白井、太田、舛田
4月10日(木) オンライン会議	7月研究会について	<ul style="list-style-type: none"> 内容及び講師依頼、日程調整など 	石井、小柴
5月6日(火) オンライン会議	7月研修会、オンライン費用、相談員協力費用について	<ul style="list-style-type: none"> 内容、場所(開催手段)、日程決定 研修開催手段および費用負担・相談員協力費、転送費について検討 	石井、志賀、白井、太田、舛田
5月30日(金)	4, 5月分集計	<ul style="list-style-type: none"> 担当相談員、転送担当集計、入力 	石井、志賀
6月12日(木) オンライン会議	7月研修会について	<ul style="list-style-type: none"> 研修会に向けての役割分担の確認 	石井、志賀、白井、太田、舛田
7月27日(日) オンライン	子育て委員主催オンライン研修会開催	テーマ：更年期のウィメンズヘルス 講師：川島 広江氏 参加者：50名	石井、小柴、白井、太田、舛田
8月3日(日)	6, 7月分集計	<ul style="list-style-type: none"> 担当相談員、転送担当集計、入力 	石井、志賀
8月5日(火) オンライン会議	研修会振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みの中で気づいたことや改善点、報告書について 	石井、小柴、白井、太田、舛田
10月1日(水)	8, 9月分集計	<ul style="list-style-type: none"> 担当相談員、転送担当集計、入力 	石井、志賀
10月16日(木) オンライン会議	活動協力費の決定 10月～3月までの活動流れ確認 次年度相談員募集チラシ作成について	<ul style="list-style-type: none"> 次年度引継ぎに向けての流れ、担当の確認 募集チラシ作成担当決定 	石井、小柴、白井、太田、舛田
11月28日(金)	10,11月分集計	<ul style="list-style-type: none"> 担当相談員、転送担当集計、入力 	石井、白井
12月12日(金) オンライン会議	電話相談マニュアル見直し分担		石井、白井、太田、舛田
12月15日(月)	次年度相談員募集受付	<ul style="list-style-type: none"> 大潮58号と共に募集チラシ送付 メーリングリストにて募集開始 	石井
1月8日(木)	次年度準備	<ul style="list-style-type: none"> マニュアル内容見直し 	石井、白井、太

オンライン会議		・スケジュール管理	田、小柴、舛田
1月下旬	12, 1月分集計	・担当相談員、転送担当集計、入力	石井、臼井
2月上旬	次年度準備	・シフト表作成・マニュアル、フライヤー、カルテ印刷準備 ・大潮封入準備	石井、臼井、太田、小柴、舛田
3月下旬	1地区への申し送り	・令和8年度担当の1地区へ引継ぎ	石井、臼井、太田、小柴、舛田

2. 令和7年度 委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 電話相談事業を円滑に運営、継続するためのシステムの構築	<p>1) 持続可能な安定した電話相談事業運営</p> <p>(1) 柔軟で安定した運営システムの確立 グループLINE 継続</p> <p>(2) グループLINE 内での相談員の情報共有</p> <p>(3) 相談員交替などにもグループLINE を活用する</p> <p>2) 毎年継続していけるような安定した相談員の確保</p> <p>(1) 会員全体への相談員登録の呼びかけ</p> <p>(2) 研修や交流会を通し、会員が電話相談事業へ関心を向け、社会的にも重要な役割であるという意識が持てるよう図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は30名で担当し、相談数はひと月平均は25件であった（前年比-5） ・担当忘れ防止策として、子育て委員からグループLINE への当番の投稿を行い、担当者からのレスポンスを促した。 ・必要時、相談員の交替などにグループLINE を活用し、子育て委員内でも記録しリマインドを行ったため、急な欠席はなかった。 ・担当者の対応遅延があった折は、子育て委員で対応したがグループLINE 内で遅延時フォローを共有することが望ましいと振り返った・広報誌「大潮」を通して情報発信をした。 ・研修会・グループLINE を通して情報の共有を図った。 ・相談内容に応じて、保健センターや助産院につながるケースがあった。
2. 相談員が継続して協力していけるためのメンタルヘルスに努める	<p>1) 相談員が積極的に協力できる環境を整える</p> <p>(1) 交流会を通し、各々が抱える不安や対応スキルの情報交換をしていくことで個々のスキルアップと不安解消に努める</p> <p>(2) 対応に苦慮した事例、気がかりが残る事例などについて情報を共有し、グループLINE などでの情報提供、相談、子育て委員などへの連絡を通してフォローに努める</p> <p>(3) 電話相談の限界を理解し、電話相談では解決できない場合は他機関との連携し、支援を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会は1回開催、交流会は今年行わなかったが、グループLINE で共有を図るように努めた。しかし交流会は1回でも開催して協力員同士、顔を合わせる機会を作ってもよかった。 ・なじみの少ない相談内容でもある「ウィメンズヘルス」については「更年期」をテーマにして開催し大変好評であった。 ・気がかりが残る事例などについてグループLINE で情報共有し、継続支援に当たれるように備えた（複数日連続で相談連絡されるケースはなかった） ・1回(3時間)の相談に対し、謝金1,300円(源泉徴収含む)支給は継続となった。

3. 次年度(令和8年度)課題

- 1) 各地区からの相談員の確保
- 2) 安定した相談件数の持続(本事業の広告認知の検討)

3) 令和7年度 安全対策委員会 活動報告

委員長 的場晴美

委員 米丸充咲・來田美鈴・山中真弓・佐藤重子・清水清美

1. 委員会・助産所安全管理訪問開催状況（ZOOM）

開催日	議題	内容	出席委員名
5月21日（水）	1. 検討事項	・役割分担 ・年間計画、研修会内容について ・助産所安全管理訪問について	的場、米丸、來田 山中、佐藤
6月18日（水）	1. 検討事項	・助産所安全管理訪問について ・研修会内容について ・助産所分娩基本データシステム	的場、米丸、來田、 山中、佐藤
6月30日（月）	助産所安全管理訪問	若草助産院	米丸、山中
7月16日（水）	助産所安全管理訪問	ゆい助産院	米丸、的場
7月16日（水）	1. 検討事項	・助産所安全管理訪問について ・インシデント報告・対応検討	的場、米丸、來田、 山中、佐藤
7月29日（火）	助産所安全管理訪問	ねむねむ助産院	米丸、山中
8月20日（水）	1. 検討事項	・助産所安全管理訪問について ・インシデント報告状況確認 ・研修会について	的場、來田、山中
8月28日（木）	助産所安全管理訪問	武田助産院	米丸、山中
8月29日（金）	助産所安全管理訪問	すがや助産所	米丸、的場
8月30日（土）	助産所安全管理訪問	あびこ助産院	清水
9月11日（木）	助産所安全管理訪問	アロマバース助産院	米丸、的場
9月17日（水）	1. 報告事項 2. 検討事項	・助産所安全管理訪問について ・産後ケア研修会について ・BCP研修会について	的場、米丸、來田、 山中、佐藤
10月8日（水）	助産所安全管理訪	キミツナカノ助産院	米丸、山中
10月15日（水）	1. 検討事項	・助産所安全管理訪問について ・12月研修会詳細について ・2月BCP研修会企画 ・インシデント報告について	的場、米丸、來田、 山中、佐藤、清水
10月16日（木）	助産所安全管理訪問	さくら咲く助産院	米丸、的場
10月22日（水）	助産所安全管理訪問	みらい助産院	米丸
11月13日（木）	助産所安全管理訪問	ひまわり助産院	米丸
11月19日（水）	1. 検討事項	・助産所安全管理訪問について ・12月研修会について ・2月BCP研修会詳細について	的場、米丸、來田、 山中、佐藤、清水
12月14日（日）	安全・保健指導部合同	「地域でちがう?!産後ケアのあれこ	的場、來田、

	研修会（対面）	れ交流会」（千葉市文化センター）参加者 25 名	山中、佐藤、
1 月 21 日（水）	1. 検討事項	・ 次回研修準備 ・ 今年度まとめ ・ 来年度計画	的場、米丸、來田、 山中、佐藤、
2 月 18 日（水）	1. 検討事項	・ 次回研修準備	的場、米丸、來田、 山中、佐藤、清水
2 月 28 日（日）	安全・保健指導部・災害対策合同研修会（対面）	「保健指導型助産院のBCP作成研修会」日本赤十字看護大学 石田千絵教授（千葉市生涯学習センター）参加者 名	的場、米丸、來田、 山中、佐藤、清水

2. 令和7年度 委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 事故・搬送・転院事例・ヒヤリハット事例の報告が的確に行える	1) 年1回の研修会企画・開催 (1) インシデント・アクシデントの意義を周知 (2) インシデント・アクシデント報告の運用方法 (3) インシデント・アクシデント報告の共有・フィードバック	1) 2) インシデント研修報告を大潮掲載にて周知 3) 総会や研修会、理事会で共有。否定しないで受け止める対応や、フィードバックを会員にどのような方法でしていくかが課題。委員内での情報共有のツールが必要
2. 助産師業務安全管理評価を実施できる	1) 日本助産師会の助産師業務安全管理評価表に準じ調査する 2) 助産所部会長と協働し、「助産所安全管理評価」を実施 (1) 嘱託医、協力医療機関との契約更新・保険加入の確認 (2) 改善点・気づきを共有する	1) 調査し報告できた 2) 全助産所実施できた
3. 災害対策の視点でリスクマネジメントができる	1) 災害対策委員と合同で研修会開催 2) 災害時の連携方法を理解する 3) BCP(事業継続計画)の再確認ができる	1) 実施できた 2) 実施できた 3) 実施できた

3. 次年度（令和8年度）課題

- 1) 事故・搬送・転院事例・ヒヤリハット事例の報告が的確に行える
- 2) 助産師業務安全管理評価を実施できる

4) 令和7年度 災害対策委員会 活動報告

委員長 金子真理恵

委員 鈴木香里 進藤延江 末安早苗 今ひろみ

地区委員 足立 塩見 水野 伊東 徳永 稲葉 進藤 夏村

1. 委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
5月28日(水) ZOOM 事務所	第1回運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の予定 委員会運営方針 組織編成 九都県市合同防災訓練について シミュレーション訓練について 	進藤・鈴木・末安 今・志村・金子
6月8日(日) ZOOM	第1回委員会	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の予定 九都県市合同防災訓練について シミュレーション訓練について 災害支援マニュアル改訂準備 支援協力員、協力助産院の確認他 	足立・水野・伊東 徳永・稲葉・進藤 鈴木・末安・今 志村・根岸・金子
9月24日(水) ZOOM 事務所	第2回運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 九都県市合同防災訓練準備 シミュレーション訓練報告 日本助産師会連携集会 小児周産期リエゾン研修報告 災害支援マニュアル改訂準備 	進藤・鈴木・末安 今・志村・金子
10月5日(日) ZOOM	第2回委員会	<ul style="list-style-type: none"> 九都県市合同防災訓練について シミュレーション訓練報告 小児周産期リエゾン研修報告 災害支援マニュアル改訂準備 	足立・塩見・水野 伊東・稲葉・進藤 夏村・鈴木・末安 根岸・清水・金子
令和8年 1月14日(水) ZOOM 事務所	第3回運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 九都県市合同防災訓練報告 災害支援マニュアル改訂準備 地区活動報告 印西市災害時保健活動訓練報告 地区活動費請求について 次年度の運営・予算 	進藤・鈴木・末安 今・金子
1月25日(日) ZOOM	第3回委員会	<ul style="list-style-type: none"> 九都県市合同防災訓練報告 支援協力員、協力助産院の確認 地区の活動報告 災害支援マニュアル改訂準備 地区活動費請求について 次年度の運営・予算 	足立・塩見・水野 伊東・徳永・稲葉 進藤・夏村・鈴木 末安・今・志村 根岸・清水・金子

2. 令和7年度 委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 通常定例会	1) 通常定例会及び必要に応じ臨時	1) 通常定例会は対面、ZOOMにて3回開

や共通ツールにて全地区の情報共有を図る。	<p>会議を開催する。</p> <p>2) 各地区との情報の収集や共有、また問題発生時には解決に努める。</p>	<p>催。</p> <p>2) 委員会グループ LINE やメールにて常時、情報共有はできた。</p>
2. 災害時の初動動作に有効なシミュレーションを検討し、準備実施をする。	<p>1) シミュレーションができる災害時訓練への参加を促す。</p> <p>2) 災害時マニュアルの熟読し、改訂に向けて準備する。</p> <p>3) 災害時支援協力員・協力助産院の確保に努める。</p> <p>4) 会員全員周知を目指し各地区にて災害時連絡網を整備する。</p> <p>5) 初動動作が円滑にできるよう、災害対策本部の役割の細部まで検討し、アクションカードを作成する。</p>	<p>1) BCP 対策として、チームで対応できるように組織を見直した。</p> <p>2) 各地区委員全員でマニュアルの見直しを実施した。</p> <p>3) 協力助産院、協力員のリストアップを年に2回実施した。</p> <p>4) 会員全員への周知は、地区委員が努力している。今後も呼びかけをしていく必要がある。</p> <p>5) アクションカードを改善しアクションリストを作成した。</p>
3. 日本助産師会・関連団体との連携を図り協体制を構築できるように努める	<p>1) 日本助産師会主催及び他機関主催の災害対策研修へ参加する。</p> <p>2) 研修会等で近隣助産師会の災害時支援の連携について検討し合い、顔の見える関係を築くことができるように努める。</p> <p>3) 近隣助産師会による支援協力を受ける時の手順を考える。</p>	<p>1) 小児周産期リエゾンが主催する講習へ参加した。</p> <p>2) 日本助産師会主催の研修会へ参加し、他県と意見交換することができた。</p> <p>3) 九都県市合同防災訓練でDMATなど他団体と協働して活動できた。近隣助産師会との会議等は今年度開催がなかった。</p>
4. 地域の災害対策事業に参加する。	<p>1) 市町村との災害時支援協力を図る。(災害時支援協定)</p> <p>2) 災害時支援協定締結後の市町村との細部の活動を確認する。</p> <p>3) 地域の防災訓練に参加し、助産師活動をアピールする。</p> <p>4) 千葉県リエゾンへ積極的に参加し、リエゾンの一員としての役割を果たすことができるように努める。</p>	<p>1) 7月四街道市との協定が締結。15市となった。協議中の行政あり。印西市災害保健活動訓練に参加した。</p> <p>2) 所属地区にて話し合いを積極的に働きかけ、協定書のアップデート推進。</p> <p>3) 各地区にて防災訓練参加、年々増加している。</p> <p>4) 有床助産院が広域災害救急医療情報システム(EMIS)への登録済。災害対策委員メンバーや助産師会会員が小児周産期リエゾン主催の研修に参加した。</p>

3. 次年度（令和8年度）課題

- 1) 各市町村との災害時支援協定の締結
- 2) 災害時の他県や他機関との連携
- 3) 災害時支援マニュアルの改訂

5) 令和7年度 広報委員会 活動報告

委員長 齋藤明子

委員 佐藤幸江・富田三奈子

*宇梶智恵美 4月出産のため46号から49号までお休み

1. 委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
5月7日	1. 大潮47号原稿依頼 2. 編集作業	・執筆者へ原稿依頼 ・原稿の編集5月から入稿まで 随時対応 line・Google ドライブ使用	佐藤 委員全員
7月16日(水)	1. 大潮47号 発送作業 2. 原稿依頼内容 3. 大潮48号編集 スケジュール	・大潮発送作業 ・執筆者・大潮48号内容決定	齋藤・佐藤・富田 教育委員会 山田 庶務 安達 事務 椿
10月1日(火)	1. 大潮48号原稿依頼 2. 編集作業	・執筆者へ原稿依頼 ・原稿の編集10月から入稿まで 随時対応 line・Google ドライブ使用	委員全員
12月15日(月)	1. 大潮48号 発送作業 2. 原稿依頼内容 3. 大潮49号編集ス ケジュール	・大潮発送作業 ・執筆者・大潮49号内容決定	齋藤・佐藤・富田 庶務 安達 選挙管理 進藤 事務 椿
1月5日(月)	1. 大潮49号原稿依頼	・執筆者へ原稿依頼 ・原稿の編集2月から入稿まで 随時対応 line・Google ドライブ使用	佐藤 委員全員
1月10日(土)	1. 活動報告・活動 計画作成 2. 100周年記念執 筆原稿	・令和7年の活動報告 ・令和8年の活動計画 ・広報委員過去10年のあゆみ	齋藤
3月16日(月)	1. 大潮49号 発送作業 原稿依頼内容 2. 大潮50号編集 スケジュール	・大潮発送作業 ・執筆者・大潮50号内容決定	齋藤・佐藤・富田 事務 椿

2. 令和7年度 委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 「大潮」を発行する.	1) 年3回、計画的に発行する。 2) 原稿依頼・編集・発送に関して、役割分担・手順をマニュアルに沿い、効率よく大潮の作成、発行する。	1) 47号・48号・49号発行できた。 2) マニュアルに沿って効率よく作業できた。
2. 大潮を通して、会員へ助産師会の活動を広報する	1) 千葉県助産師会の事業や研修会の情報などを掲載し、会員に配布する。 2) 会員へホームページとメーリングリストの活用について広報する	1) 事業・研修等各委員に確認して掲載・配布した。 2) 庶務・会計と連携して広報した。
3. 大潮やリーフレットを通して関係諸機関へ千葉県助産師会の活動を広報する	1) 千葉県助産師会の事業や研修会の情報などを掲載し、日本助産師会および関係諸機関に送付する。 2) 千葉県助産師会のホームページに大潮を掲載する。 3) 各地区のイベントなどで、リーフレットや大潮を配布し、千葉県助産師会の活動を広報する。	1) 各号達成できた。 2) 大潮発送作業後にホームページ掲載依頼を出した。 1) リーフレットは電話相談の日時変更により使用できなかった。次年度内容決定して作成準備を開始する必要がある。
4. 活動の写真を、整理・保存する	1) 使用した写真はデータとして、整理し、保存する。	1) 各大潮を保存した。写真の保存が不十分だった。マニュアルに追加して保存を徹底する必要がある。
5. 広告掲載	1) 企業の広告掲載依頼があった場合、原稿の編集、大潮の郵送、県会計への連絡など取りまとめをする	1) 企業からの広告依頼がなかった。今後広告依頼について委員会で話し合う必要がある。
6. 大潮の郵送代の方法が変更された	1) 多額の現金による支払方法が変わり安全に会計できるようになった。	1) 目標にはなかったが、県の会計の協力のもと大潮の郵送料金の支払い方法がスムーズになった。

3. 次年度（令和8年度）課題

- 1) 大潮年3回発行。紙面発行からPDFによるメーリングリストでの送付など見直しが必要。経費削減発送作業の負担軽減になる。
- 2) 助産師会のリーフレットの作成に向け準備する。
- 3) 広告依頼がないので、募集方法について話し合いが必要。

6) 令和7年度 将来構想検討委員会 活動報告

委員長 志村千鶴子

委員 清水清美 根岸雄子

米丸充咲 來田美鈴 山中真弓

1. 委員会開催状況

運営会議および理事会で検討した。

2. 令和7年度 委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 社会のニーズを把握し、助産師会活動に反映する。	1) 国・県・市町村から発信された情報を収集する。 2) 関連機関との連携を促進し、情報収集に努める。 3) 情報を運営会議や理事会で共有し、事業展開について検討する。 4) 必要に応じて助産師会独自、県及び市町村による事業展開に向けた準備に着手する。	1) 行政・関連機関の会議や話し合いに参加することによって情報収集し、会員へ通知した。 2) 千葉県、日本助産師会、千葉県看護協会と連携して情報収集を行った。 3) 収集した情報を運営会議や理事会で共有し、産後ケア事業、災害支援等における行政及び関連機関の事業に協力した。 4) 産後ケア事業や安全管理対策およびBCP作成に向けた研修会を開催した。独自の事業展開については検討中である。
2. 会員の増加に努めると共に、潜在しているマンパワーの把握と育成の提案を行う。	1) 会員の増加に努める。 (目標：390名) 2) 会員の活動内容を把握し、必要な情報を発信する。 3) 会員の育成に必要な研修会を提案する。	1) 会員数 384名(1月26日現在)で、目標を達成には至らなかった。 2) 会員の活動内容を把握し、必要な情報は「大潮」やHP、MLで発信した。 3) 研修会の開催方法等を工夫して、会員に必要な研修会を開催できるように提案した。
3. 事務所の管理・運営の安定化を図る。	1) 事務所の活用を図るため、管理・運営方法を見直す。 2) 事務員の雇用の維持・安定化を図る。 3) 事務所移転を考慮する。	1) 事務所の管理・運営方法について中間監査や災害対策運営会議などで使用を継続しながら検討した。 2) 事務員任用(会員)の雇用1名を維持している。 3) 事務所移転については、引き続き検討していく。
4. 助産所の存続と発展に向けた活動を行う。	1) 助産所(有床・無床)の減少を最小限にし、継続・発展するために後継者の育成を図り企画を協議する。 2) 助産所分娩施設の安全を守	1) 分娩を取り扱う助産所数(有床9か所、無床2か所)の、後継者の育成や助産院の存続に向けた話し合いは今後も継続していく。

	<p>り、継続的に経営が成り立つために連携医療機関・嘱託医の確保に努める。</p> <p>3) 各専門部会（助産所部会・勤務助産師部会・保健指導部会）の会員の意見を収集し、専門職としての意見を県市町村に反映する。</p> <p>4) 活発に運営している県外を含めた助産所（助産、保健指導、訪問看護）施設見学、講話等を通して学ぶ。</p>	<p>助産所部会では開業助産師を講師に分娩スタイルや骨盤ケアの対面講習に取り組んでいる。</p> <p>2) 連携医療機関・嘱託医の確保については、引き続き情報収集と意見交換を行いながら、重点課題として今後も取り組む。</p> <p>3) 各専門部会の会員の意見は部会集会等で収集し、意見交換や情報収集をすることができ、医療整備課との意見交換につなげた。</p> <p>4) 助産施設の見学は実施していないが、県外開業助産師を招いての交流会により学ぶ機会があった。</p>
5. 地区部会の入会者を増やし、地区部会活動への参加を促す。	<p>1) 各地区部会の母子保健活動に関する情報を収集し整理する。</p> <p>2) 全ての会員が該当地区部会に所属し、地区部会活動に参加する機会を得られるよう促す。</p>	<p>1) 理事会等で共有、産後ケアあれこれ交流会や3部会合同での情報交換の機会を持つことができた。</p> <p>2) 新会員へは入会パンフレットを用いて周知し、地区部会にも必ず入会するよう促した。</p>
6. 専門部会間の連携を強化して組織活動を展開する。	<p>1) 3部会集会を開催し、部会間の連携を図る。</p> <p>2) 3部会に共通したテーマを検討する機会をもつ。</p> <p>3) 病医院、助産所、地域で働く助産師が連携する方法を他の組織団体とも協力を得ながら探る。</p>	<p>1) 3部会集会は開催しなかったが、研修会等で部会間の連携を図った。</p> <p>2) 3部会に共通したテーマである安全対策について研修会を開催した。</p> <p>3) 研修会等では病医院、助産所、地域で働く助産師が連携できた。</p>

3. 次年度（令和8年度）課題

- 1) 社会の変化やニーズを把握し、助産師会活動に反映する。
- 2) 会員増加に努めると共に、潜在しているマンパワーの把握と育成の提案を行う。
- 3) 事務所の管理・運営の安定化を図る。
- 4) 助産所の存続と発展に向けた活動を行う。
- 5) 地区部会の入会者を増やし、地区部会活動への参加を促す。
- 6) 専門部会間の連携を強化して組織活動を展開する。
- 7) すべての助産院のBCP策定を推進し、災害への対応力を高める。

7) 令和7年度 細則検討委員会 活動報告

委員長 志村千鶴子

委員 清水清美 根岸雄子

1. 委員会開催状況

運営会議および理事会で検討した。

2. 令和7年度 委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 定款および細則の見直しを適宜行う。	1) 定款を見直し、必要があれば総会において改正する。 2) 定款に合わせて細則の見直しを行う。	1) 令和6年度の総会にて、定款改正されており、見直しはしていない。 2) 改正した定款はホームページ等にて周知を継続している。 2) 定款および細則の見直しは、必要時継続していく。
2. 規程作成および活動マニュアルを整理する。	1) 各部会および各委員会の規程を整理する。 2) 定款や細則に基づいて作成された規程を整理する。 3) 部会・委員会および各担当部署の活動マニュアルを整理する。	1) 2) 3) 部会および委員会の規程の改定は実施しなかった。しかし、「生と性の健康教育委員会」の活動が円滑に運営されるよう HP を修正した。「災害対策委員会」の災害協定締結までの流れが円滑となるよう提供書の見直しを支援した。
3. 規程集を作成する。	1) 既存の規程を適宜見直す。 2) 本会の活動に必要な規程があれば、新たに作成する。 3) それぞれの規程を規程集としてまとめる。	1) 既存の規定を見直した。 2) 新たに規定は作成しなかった。 3) まとめられた規程集を確認した。

3. 次年度（令和8年度）課題

- 1) 定款および細則の見直しを適宜行う。
- 2) 規程および活動マニュアルを適宜確認、見直しを図る。

8) 令和7年度 生と性の健康教育委員会 活動報告

委員長 小路和子

委員 増田文子 伊藤志保 鶴岡利江子 横山鮎美
石毛光代 新森永遠路 安達桃子

1. 委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
4月6日(日) Zoom 会議	1. 今年度の計画について 2. 研修について	・目的、活動内容の確認 役割分担 ・内容の検討。	増田、伊藤、鶴岡 横山、石毛、新森、 安達、小路
4月27日(金) 総会后顔合わせ	1. 研修について 2. HP 改定	・7月2日開催 ・	増田、伊藤、鶴岡 新森、小路
6月11日(金) ～開催まで LINE・メール会 議	1. 研修について	・参加者の管理 ・アンケート内容の検討 ・録画配信の可否について検討 ・ニュースレターについて	増田、伊藤、鶴岡 横山、石毛、新森、 安達、小路
6月22日(火) 研修・交流会		・テーマ「地区健康教育の実際」 1 地区加藤睦さんの中学生向け講座に学ぶ 参加者 27名	増田、伊藤、鶴岡 横山、石毛、新森、 安達、小路
7月7日(月) LINE・メール会 議	1. 研修について 2. 講師の情報交換 の方略 3. 各地区現状につ いて	・アンケート結果 ・ニュースレターの管理、地区を越え ての見学、情報提供のために、HP・ Google ドライブの活用について検 討。	増田、伊藤、鶴岡、 横山、石毛、新森、 安達、小路
7月16日(水) Zoom 会議	1. 日本乳幼児精神 保健学会につ いて	・参加の可否、シンポジウム、ポスタ ーセッションの内容・担当者	増田、伊藤、鶴岡、 横山、石毛、新森、 安達、小路
～9月1日(月) LINE・メール会 議	1. 日本乳幼児精神保 健学会につ いて	・ポスターセッションの内容 ・参加の可否	増田、伊藤、鶴岡、 横山、石毛、新森、 安達、小路
10月31日(金) Zoom 会議	1. 講師の情報交換 の方略 2. 後期活動につ いて	・HPに委員会のページを作りたい ニュースレターの活用 ・地区を越えての見学のために、 Google ドライブの活用 ・速やかな情報提供 グループ LINE の活用	増田、伊藤、鶴岡、 横山、石毛、新森、 安達、小路

11月24日(月) ～ メール会議	1. 中間報告	・今年度前期のまとめ	増田、伊藤、鶴岡、 横山、石毛、新森、 安達、小路
12月4日(木) Zoom 会議	1. HP 改定他	・委員会のページを作成 ・講師のグループ LINE ・地区を越えて見学できるよう検討	増田、伊藤、鶴岡、 横山、新森、 安達、小路
1月9日(金) Zoom 会議	1. HP 改定他 2. 今期の活動報告、次年度目標	・HP 記載内容について ・今期の活動報告 ・次年度目標	増田、伊藤、鶴岡、 横山、石毛、新森、 安達、小路

2. 令和7年度 委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 「生と性の健康」の意義・必要性について会員の理解を深める。	1) 研修会・交流会を開催する。 2) ニュースレターの活用をすすめる。	1) 6月22日(日) 千葉市生涯学習センター テーマ「地区健康教育の実際」 1 地区加藤睦さんの中学生向け講座に学ぶ。委員を含め27名が参加し、交流会では活発な意見交換がなされた 1) 各地区で配布。 2) 千葉県助産師会のHPに委員会のページを作成し、いつでも閲覧できるよう図った。
2. 「生と性の健康教育」の方略を検討する。	1) 様々な課題を抱える中で、今後も健康教育を実施・継続していけるように図る。	1))フォームメーカーからの難しい依頼など、問題が起きる度に委員会内で速やかに情報を共有し、対話を重ね、助産師会としてよりよい対応が出来るよう努めた。
3. 助産師会と他職種の連携を図る。	1) 千葉 STI 研究会に参画し、活動する。 2) ちば思春期研究会に参画し、活動する。	1) 千葉 STI 研究会に参画した。 2) 思春期研究会では理事として参加。医師、教師等他職種との情報・意見交換を行い、連携を図った。

3. 次年度(令和8年度)課題

- 1) 様々な課題がある中で、助産師が健康教育を実施・継続していくための方略を検討する。
- 2) 「助産師が行う健康教育」について会員の意識を深められるよう図る。

6. 表彰および福祉事業報告

令和7年度表彰者

健やか親子21内閣府特命大臣表彰

米村 洋子 様

千葉県看護功労者表彰 知事表彰

佐々木 明代 様

千葉県母子保健事業功労者知事表彰

來田 美鈴 様

稲葉 和子 様

日本家族計画協会会長表彰

安達 桃子 様

公益社団法人母子保健推進会議会長表彰

栗島 寿恵 様

根岸 雄子 様

恩赦財団母子愛育会会長表彰

小路 和子 様

加藤 睦 様

公益社団法人日本助産師会会長表彰

鶴岡 利江子 様

山中 真弓 様

久保 幸代 様

公益社団法人日本助産師会名誉会員

齋藤 葉子 様

7. 行政および関連団体等への会議参加状況

地区	会議名
千葉県助産師会全体	千葉県母性衛生学会理事会
	千葉県医療推進協議会
	千葉県周産期医療審議会
柏・野田・我孫子 流山・松戸	柏市思春期関係者会議
	柏市保健衛生審議会母子保健専門分科会
	柏市乳幼児保健懇話会
	松戸市母子保健連絡協議会
	松戸保健所母子保健推進協議会
	松戸市防災会議
市川・浦安	我孫子市まち・ひと・しごと創生有識者会議
	市川市 STD 対策推進協議会
	社会福祉協議会評議員会
	市川保健所母子保健推進会議
	市川保健所産後ケア会議
	社会福祉協議会ファミリーサポート事業会議
	浦安市災害医療対策会議
船橋	船橋市要保護児童及びDV 対策地域協議会代表者会議
	船橋市母子保健連絡協議会
	船橋市地域災害医療対策会議
習志野・八千代・鎌ヶ谷	八千代市小中義務教育学校思春期保健教育推進会議
	習志野・八千代・鎌ヶ谷市産後ケア連絡会議
	習志野保健所母子保健推進協議会会議
	習志野市防災会議
	習志野市社会教育委員会
印旛	八千代市健康まちづくりプラン推進評価委員会会議
	印旛健康福祉センター運営会議
	印旛地域保健医療連携・地域医療構想調整会議
	成田市赤ちゃん訪問連絡会会議
	災害対策会議（佐倉市・成田市・印西市・白井市）
	印西市災害時保健活動会議
	産後ケア訪問事業会議（佐倉市・四街道市）
千葉県虐待対策研究会北総分科会	
香取・海匝・山武	山武市要保護児童対策地域協議会代表者会議
	山武管内母子保健連絡会議
	山武保健所母子保健推進協議会
	長生保健所母子保健推進協議会
	香取保健所母子保健推進協議会
千葉	千葉市地域保健医療協議会
	千葉市健康づくり推進協議会
	千葉市保健所運営協議会
	健やか未来都市ちばプラン推進協議会
	千葉地域医療構想調整会議
	千葉市男女共同参画審議会
	千葉市国民健康保険運営協議会
市原・君津・安房	いちはら健倅まちづくりプラン すこやか親子ワークショップ
	健康づくり推進協議会
	市原健康福祉センター母子保健推進協議会
	周産期保健に関する連絡調整会議
	君津健康福祉センター母子保健推進協議会
安房地域母子保健推進協議会	

8. 令和7年度 千葉県助産師会の主な動向

月 日	内 容
4月2日	令和6年度監査（千葉市市民会館）
4月4日	千葉県立保健医療大学入学式（志村）
4月4日	あびこ助産師専門学校入学式（根岸）
4月6日	第1回運営会議（オンライン）
4月13日	第1回理事会（千葉市生涯学習センター）
4月17日	100周年準備会議（オンライン）
4月25日	2025年度日本助産師会役員選挙「事前説明会」（オンライン）
4月27日	千葉県助産師会総会開催
4月27日	第2回理事会（総会后）
5月15日	公益社団法人日本助産師会 臨時総会 一橋大学一橋講堂
5月16日	公益社団法人日本助産師会 第98回通常総会 一橋大学一橋講堂
5月17日	公益社団法人日本助産師会 第81回日本助産師学会
5月21日	武田企画とホームページの話し合い
5月22日	100周年準備会議
5月25日	第2回運営会議（オンライン） / 災害対策委員会運営会議（事務所）
6月7日	千葉県母性衛生学会学術集会
6月8日	第3回理事会（オンライン） / 災害対策委員会
6月25日	公益社団法人千葉県看護協会総会（清水）
7月13日	「国際助産師の日」のつどい in 流山市おおたかの森 ～地域でつながる！はぐくむ！ファミリーウエルネス with 助産師～
7月13日	千葉県小児科医会創立55周年祝賀会（志村）
7月15日	君津市訪問型産後ケア事業謝罪 君津市こども家庭センター
7月16日	第47号 大潮の発送
7月28日	四街道市「災害時等における助産師による支援活動協力に関する協定」の締結式
7月29日	千葉県医療整備課および児童家庭課への要望書提出（意見交換会）
7月31日	公益社団法人日本助産師会役員選挙に関する代議員向けオンライン説明会
8月7日	公益社団法人日本助産師会 臨時総会（品川） / 100周年準備会議
8月17日	第2回運営会議（オンライン）
8月31日	第4回理事会（千葉市民会館） / 災害時初動動作シミュレーション訓練
9月6日	公益社団法人日本助産師会第1回南北関東地区代表者会議（オンライン：志村）
9月17日	千葉県母性衛生学会理事会（オンライン：志村）
9月25日	公益社団法人日本助産師会 第1回 都道府県代表者会議（清水）
10月5日	災害対策委員会（オンライン）
10月19日	第46回九都県市合同防災訓練 千葉県館山市（志村・清水・根岸）

10月20日	公益社団法人日本助産師会 緊急助産所部会集会 (オンライン)
11月2日	第4回運営会議 (オンライン)
11月3日	中間監査 (事務所)
11月6日	顛末書提出 君津市役所本庁
11月8日	公益社団法人日本助産師会 災害対策委員会オンライン連携集会
11月17日	印西市防災訓練 (志村)
11月17日	南関東地区代表者会議 (オンライン: 志村)
11月20日	武田企画とホームページの話し合い
11月23日	第5回理事会 (千葉市民会館)
11月23日	菜の花会 ポートプラザ千葉
11月28日	公益社団法人日本助産師会 第2回都道府県助産師会代表者会議 (清水)
12月6日	印旛市郡産婦人科医会定例会 (オンライン: 志村)
12月9日	大塚製薬株式会社千葉県エリア担当者面談 (オンライン: 志村・清水)
12月15日	第48号 大潮の発送
12月23日	厚生労働省保険局医療課による分娩費用保険化に関する説明会 (オンライン)
12月26日	千葉県周産期医療審議会 (オンライン: 志村)
1月10日	千葉県医師会新年会 (志村)
1月11日	第5回運営会議 (オンライン)
1月25日	千葉県医療整備課「実習施設確保に関する意見交換会」(オンライン: 志村)
1月25日	第6回理事会 (オンライン) / 災害対策委員会 (オンライン)
1月29日	MSD株式会社3月開催予定 共催セミナー打合せ (志村)
1月30日	スタジオアリス事業担当者打ち合わせ 千城台
2月3日	千葉県母性衛生学会理事会 (オンライン: 志村)
2月15日	第7回理事会 (オンライン) (予定)
2月15日	3役会 (オンライン) 理事会後
3月1日	第7回運営会議 (予定)
3月10日	あびこ助産師専門学校卒業式 (志村) (予定)
3月12日	千葉県立保健医療大学卒業式 (根岸) (予定)
3月12日	MSD株式会社共催 子宮頸がんワクチンセミナー (志村) (予定)
3月15日	千葉県立保健医療大学卒業式
3月15日	第8回理事会 (千葉市民会館) (予定)
3月16日	第49号 大潮の発送 (予定)
3月21日	公益社団法人日本助産師会 第3回都道府県助産師会代表者会議 (予定)
4月3日	あびこ助産師専門学校入学式 (志村) (予定)
4月5日	令和7年度会計監査 (千葉市民会館)
4月6日	千葉県立保健医療大学入学式 (根岸) (予定)

9. 令和7年度 メーリングリスト配信状況

年	月	内容
R7	4月	こども家庭庁からの資料共有いたします。
		【母乳育児支援】きいて・みて・わかる 母乳育児支援のコツ(動画配信)のご案内
		千葉県助産師会ホームページの助産所紹介ページ掲載について (2025.6月より掲載分)
		5月15日臨時総会開催についてご報告です。
		妊婦等包括相談支援事業・妊婦のための支援給付について 産科医療機関向けQ&Aが追加されました (子ども家庭庁)
		【事務連絡】令和7年度「若年層の性暴力被害予防月間」啓発動画の活用について
		3月21日都道府県助産師会での「質問と回答」、「会員向け説明書」をお送りいたします。
		(ご依頼) 参加登録案内の周知につきまして:5月11日開催第10回母と子のメンタルヘルスフォーラムin Tokyo
		【情報共有】全国女性シェルターネットより
		【重要】社員による集会ご案内について
		臨時総会 (5/15) 通常総会 (5/16) 参加登録ご案内
		令和7年4月26日 会員集会のおしらせ
		会員への説明メール配信について
		千葉県助産師会 通常総会 資料「別冊」
	千葉県助産師会 通常総会 一般会員の受付時間について	
	千葉県周産期母子医療センター設置・運営要綱及び千葉県周産期母子医療センター整備要領の一部改正について (通知)	
	コンプライアンス事案に関する誤った情報について	
	【訂正】千葉県助産師会 通常総会の会場につきまして	
	5月	保健指導部会研修会より研修会のお知らせ。
		生と性の健康教育委員会より研修のお知らせ
		助産所部会より研修会のご案内
		【第66回日本母性衛生学会・学術集会】演題登録(※切延長)及び参加登録のご案内
		【千葉県】令和6年度医療機関等物価高騰対策支援事業の実施について
	千葉県看護協会 R7年度助産師職能集会について	
	6月	【事務連絡】医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンスの一部改正等について
		日本助産師会 中根会長挨拶
		【事務連絡】「出産育児一時金等の受取代理制度の届出について」
		【事務連絡】令和7年度 医療情報セキュリティ研修の実施について
		(通知) 令和7年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」標語募集への協力依頼について
		災害対策委員会より 令和7年度災害時初動シミュレーション訓練実施のご案内
		《7月27日開催》子育て委員会主催研修会のご案内
		【局長通知】「出産育児一時金等の支給申請及び支払方法について」の一部改正について
	【千葉県 医療整備課】令和7年度院内感染対策講習会について (依頼)	
	7月	【お知らせ】国際助産師の日のイベント コーチング講座のご案内
		【事務連絡】2025年度 再選挙及び補欠選挙(電磁的方法)のお知らせ
		【お知らせ】教育委員会主催 研修(2025年9月28日NCPR講習)
		医療事故調査・支援センターより「警鐘レポートNo.3」
		大潮47号誤字へのお詫び
		教育委員会より(2025年9月28日 NCPR(Sコース)講習について
		【受付開始のお知らせ】地域における保健指導の実践
		ICM Midwives Data Hub について
		四街道市との協定締結式 本日18時10分から15分からのNHKの首都圏ニュース
【ご連絡】臨時総会開催にあたって		
8月	【千葉県 医療整備課】【通知】医療従事者の資格免許証の原本照合の見直しについて	
	第13回千葉母乳育児支援学習会 チラシ	
	【お知らせ】松戸保健所疾病対策課様より研修会のお知らせ	
	【受付開始のご案内】2025年度第1回助産所部会部会集會	
	【千葉県子育て支援課】令和7年度 母子保健指導者研修会の開催について	
	【日本家族計画協会】思春期保健セミナーのご案内	
	【研修会のお知らせ】9地区主催の研修会です	
	【千葉県健康福祉部業務課】医療用物資の国備蓄品の売却について (周知)	

年	月	内容
R7	9月	【千葉県児童家庭課】 こどもの虐待防止推進に係るポスター等の必要部数調査について（照会）
		【助産所部会より研修のご案内】「お産を取り扱う千葉県内の助産所の未来のために」
		災害連携集会2025開催について 11/8（土）9：00～12：30予定 テーマ「災害時の地区連携を進め、協定を結ぶための具体的な取り組みを考える」
		【日本助産師会】 三部会合同部会集會 オンライン開催のお知らせ
		助産師賠償責任保険(分娩あり) 及び医療事故調査費用保険の案内
		千葉県後援の「電磁波の健康影響に関する講演会」のお知らせ
		【千葉県 医療整備課】 令和7年度個人防護具の配布の実施について
		【千葉県子育て支援課】 令和7年度 第2回母子保健指導者研修会の開催について(通知)
		【事務連絡】 地域医療支援病院等の業務報告書の報告方法について
		【事務連絡】 緊急避妊薬を調剤・販売する薬剤師及び販売する薬局・店舗販売業の店舗について
		2地区から研修会のお知らせ「産後ケアにおけるメンタルヘルス」研修会
		【お知らせ】 産後ケア実務助産師研修修了者の更新延長の再募集について
		助産所部会研修会について
		千葉県健康福祉部健康づくり支援課より「保健医療従事者等研修会」のお知らせ
	【ご依頼】 日本助産師会「助産師業務安全管理評価表」2025年度実施のお願い	
	2地区研修会のお知らせ（再送）	
	受講申込受付中：こども家庭庁委託事業「不妊症・不育症ピアサポーター等の養成研修」実施のお知らせ	
	10月	レインボーコンパスより 研修会や活動に関するお知らせ
		千葉県助産師会ホームページの助産所紹介ページ掲載（後期募集）につきまして
		11月23日(日)開催 菜の花会ご案内
		【教育委員会より】 2025年11月30日無痛分娩に関する研修のご案内
		【お知らせ】 産後ケア実務助産師研修修了者認定に関して
		赤ちゃんの眠り研究所からのおしらせ
		【申込み受付中！】 2025年度第1回保健指導部会部会集會開催のご案内
		【千葉県子育て支援課】 令和8年度 研修事業の実施予定について（主催：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会）
	【お知らせ】 勤務助産師賠償責任保険について	
	無料セミナーのご案内（スキナベープオンライン勉強会）	
11月	【日本助産師会より】 11/10開催 会員全体Zoomミーティングのお知らせ	
	【申込み受付中！】 2025年度第2回助産所部会部会集會	
	【重要】 一般社団法人日本助産学会 代議員選挙 投票開始のご案内	
	令和7年度保健指導部会と安全対策委員会の合同交流会のお知らせ	
	【教育委員会主催】 2025年11月30日無痛分娩に関する研修（リマインド）	
	交流会のお知らせ リマインド	
12月	千葉県助産師会 外部研修のお知らせ	
	【周知】 フリーランス法説明会の開催について	
	12月12日厚労省医療保険部会審議会のお知らせ	
	（教育委員会）研修会のお知らせ（2026年1月25日外国人母子支援研修会）	
	令和8年度「助産師の電話無料相談」協力員募集のご案内	
	安全対策・災害対策・保健指導部合同開催「保健指導型助産院のBCP作成研修会」	
電話無料相談協力員募集 ワードのチラシ		
ジェンダーに関連するDVDの紹介と、千葉県公衆衛生学会の開催についてのお知らせ		
MSD株式会社との共催セミナーのご案内		
R8	1月	千葉県母性衛生学会セミナーおよび子どもと家族の排泄サポート研究所 チラシ
		（教育委員会よりリマインド）2026年1月25日外国人母子支援研修会のお知らせ
		（お知らせ）【千葉県児童家庭課】 令和7年度医療機関等に対する児童虐待対応研修について
		【厚生労働省：御連絡】 災害時の保健・医療・福祉分野の連携強化に向けた、「災害時の保健・医療・福祉分野の連携強化検討会（第2回）」の開催につきまして
		千葉県母性衛生学会セミナー開催のお知らせ
		千葉県小児科医会講演会のお知らせ
	【日本助産師会】 第3回全会員ミーティング	
	2月	千葉県看護協会 R7年度中堅助産師交流会について
		妊娠・出産に関する助産師向け「助産ガイドライン」の情報提供・利用のアンケート回答ご協力をお願い
		【お知らせ】 出産関連情報提供ウェブサイト「出産なび」サイトリニューアルにつきまして
研修会 リマインド		
（お知らせ）【千葉県児童家庭課】 令和7年度医療機関等に対する児童虐待対応研修（Ⅱ部）について		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について（通知）		
全会員ミーティングのリマインド		
デートDV防止全国ネットワーク		

10. 千葉県助産師会事業部実績報告（令和7年1月～12月）

【委託事業実績（出産前教室委託事業）】

事業名	実施回数（回）
スタジオアリス・マタニティーセミナー	18
我孫子市 「しあわせママパパ学級」	12

【訪問型産後ケア事業市町村別実績】 県内13自治体

市町村名	訪問回数（回）
松戸市	39
野田市	24
柏市	99
市川市	551
船橋市	176
鎌ヶ谷市	31
八千代市	86
習志野市	90
市原市	202
木更津市	65
君津市	93
袖ヶ浦市	86
富津市	13
合計	1555

11. 令和7年度 千葉県助産師会事業への協力

地区	助産師の電話無料相談 相談員数（名）	国際助産師の日
柏・野田・我孫子・流山・松戸	2	各地区活動紹介の協力 地域住民との交流 講演会・座談会の実施
市川・浦安	2	
船橋	2	
習志野・八千代・鎌ヶ谷	3	
印旛	1	
香取・海匝・山武	2	
千葉	1 1	
長生・夷隅	0	
市原・君津・安房	7	
合計	3 0	

12. 資料・主な統計

- 1) 研修会実績報告
- 2) 助産師の電話無料相談統計
- 3) 健康教育活動報告
- 4) 生と性の健康教育活動実績
- 5) 助産所分娩数（自宅分娩を含む）
- 6) 災害対策活動報告
- 7) 「国際助産師の日」のつどい報告
- 8) 要望書

1) 令和7年度 研修会実績報告

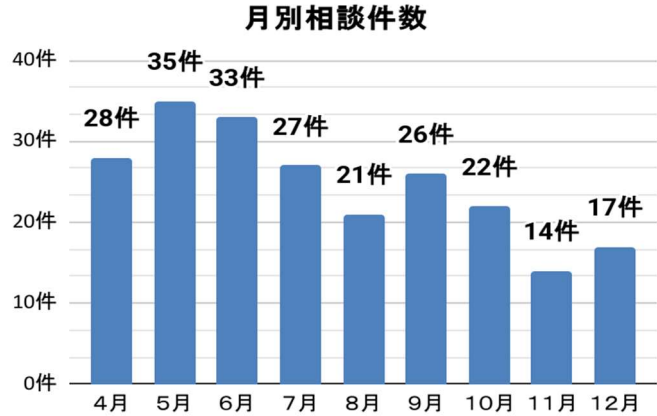
研修会名 (募集人員)	研修内容	講師	開催日時	開催方法	受講者
【教育委員会】 地区報告会	各地区の実践報告	1・2・3・4 地区	7月	大潮 送付 時に 同封	
【助産所部会】 AM「分娩室でのリラクゼーションとフリースタイル出産」 PM「妊娠中から身体を整えるための骨盤ケア〔初級編〕」(各20名)	自然分娩の周知を目指す	キミツナカノ助産院 小柴 和子先生 あびこ助産院 米丸 充咲先生	8月5日 (火)	対面	AM13名 会員7名 非会員6名 PM10名 会員7名 非会員3名
【生と性の健康教育委員会】 研修・交流会 (30名)	「地区健康教育の実際」 1地区 加藤睦助産師の中学生向け講座に学ぶ	生と性の健康教育 委員会委員	6月22日 (日)	対面	会員27名
【保健指導部会】 恥骨痛・腱鞘炎・尿漏れに注意！妊娠期からの姿勢と身体の使い方からみる『骨盤診断®』の重要性 (30名)	『骨盤診断®』 妊産婦の骨盤の診かたを知る事は、産前産後のトラブルを予見し、症状を改善するための保健指導に役立ちます。	鍼灸整骨院 サステーナ院長 國吉 裕史先生	6月29日 (日)	対面	会員19名
【保健指導部会】 産後ケア研修会	産後ケアにおける多胎児 家族育児支援	産後ドゥーラ 西 公子先生	7月17日 (木)	ZOOM	会員32名
【子育て委員会】 ウイメンズヘルスに助産師が関わる意義と役割(更年期)	1) 更年期を中心としたウイメンズヘルスについて 2) 女性の健康講座での質問や参加者の声の紹介 3) 女性の健康草案事例の共有	千葉県助産師会 7地区 千葉市助産師会幹事 川島助産院 院長 川島 広江先生	7月27日 (日)	対面	会員50名
【勤務助産師部会】 「エジンバラの活用と産後の母親への関わり方」 (40名)	エジンバラの効果的な活用法を知り産後うつやメンタルの不調をきたした対象への関わり方など		9月頃	対面 または ZOOM	開催中止
【教育委員会】 NCP R Sコース (8名)	NCP Rスキルアップ認定講習	成田赤十字病院 岡崎 恵利先生	9月28日 (日)	対面	会員8名
【教育委員会】 安全な出産に関する研修会 (30名)	無痛分娩を希望する産婦への支援	レディースホーム やわた 院長 計良 和範先生	11月30日 (日)	ZOOM	会員18名 非会員4名
【保健指導部会・安全対策員会合同交流会】 地域で違う?!産後ケアあれこれ交流会	産後ケアの安全と情報交換会		12月14日 (日)	対面	会員25名
【教育委員会】 外国人母子の支援 (30名)	外国人母子への助産ケアで大事なこと	聖路加国際大学 教授 五十嵐 ゆかり先生	2026年 1月25日 (日)	ZOOM	会員20名
【災害対策委員会・安全対策委員会・保健指導部会合同研修】 保健指導型助産院のBCP作成研修会	BCP策定の重要性について	日本赤十字看護大学 教授 石田 千絵先生	2月28日 (日)	対面	

参加費:研修会により異なります。HP等で研修会案内をご確認下さい。

2) 助産師の電話無料相談統計(令和7年4~12月)

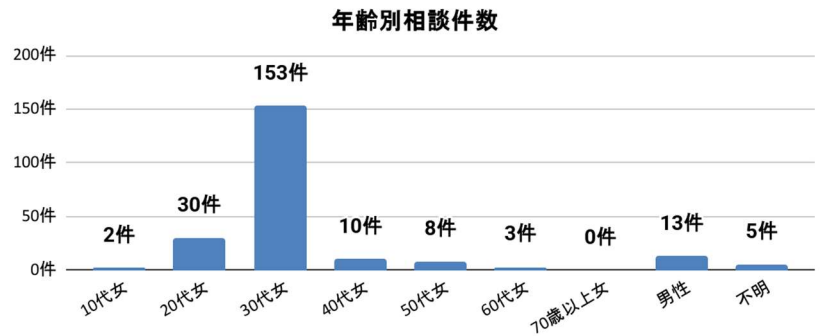
(1) 月別相談件数

年度を通じて一定数の相談があり、月ごとの件数にはばらつきがみられた。



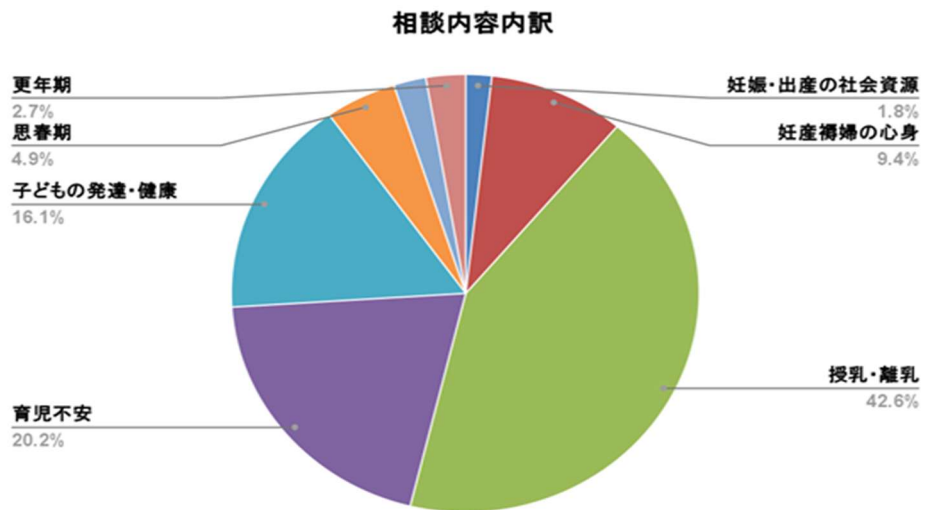
(2) 年齢別相談件数

相談者は30代女性が中心であったが50~60代からの相談も一部みられ、男性からの相談件数が増えた。



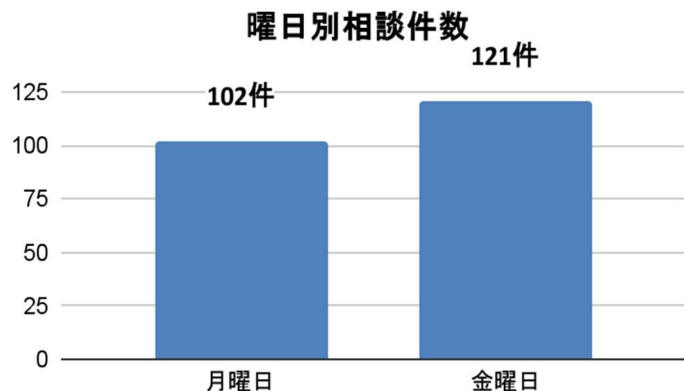
(3) 相談内容別内訳

授乳・離乳に関する相談が最も多く育児不安や精神的サポートを要する相談も多かった。



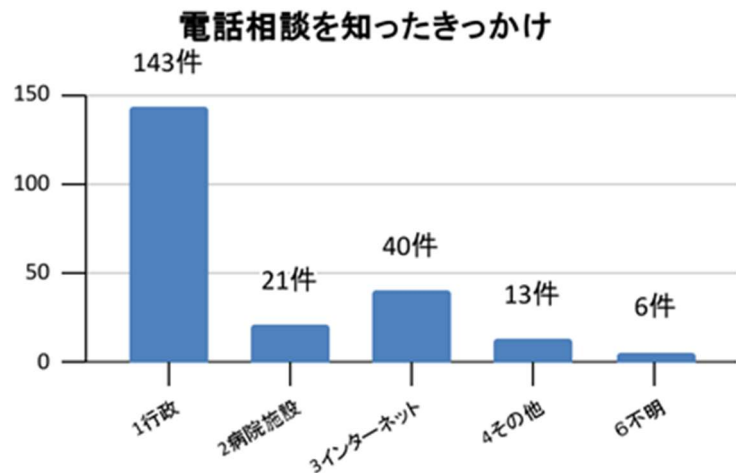
(4) 曜日別相談件数(月・金)

相談件数は金曜日が多く曜日による差がみられた。



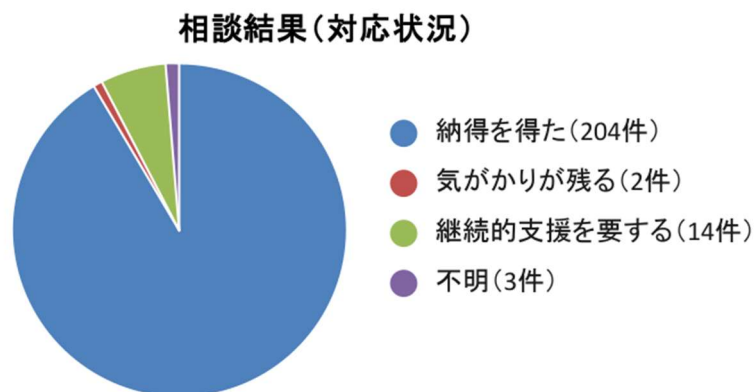
(5) 相談を知ったきっかけ

行政機関を通じた案内が最も多くインターネットや医療機関からの紹介も一定数みられた。



(6) 相談結果 (対応状況)

多くの相談において相談者の納得を得ることができ必要に応じて継続支援や関係機関への紹介を行った。



相談件数は昨年度と比較してやや減少したものの、相談内容は授乳・離乳を中心に、育児不安や妊産褥婦の心身など多岐にわたっていた。相談者は30代女性が中心であったが、50～60代からの相談や、男性からの相談も増加しており、家族単位・世代横断的な支援ニーズの広がりがうかがえる。相談のきっかけとしては行政や医療機関からの案内が有効であり、今後は産後期を中心とした適切なタイミングでの事業周知が重要と考えられる。

3) 健康教育活動報告 (令和7年1月～12月)

1. 実施回数										
●対象者		1地区	2地区	3地区	4地区	5地区	6地区	7地区	9地区	合計
就学前		0	0	0	2	1	0	0	0	3
小学校		66	26	0	54	9	6	22	6	189
中学校		21	14	47	12	19	6	40	3	162
高等学校		2	0	1	4	2	0	3	1	13
特別支援学校	小学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学部	1	2	0	0	0	0	0	0	3
	高等部	5	1	0	0	0	0	0	0	6
PTA・保護者		1	0	0	11	2	1	6	1	22
大学・専門学校		0	0	0	1	0	0	15	1	17
社会人		0	0	0	2	0	0	0	0	2
教員		2	0	0	0	0	0	1	1	4
その他	公民館・女性センター等	2	0	0	11	0	0	5	0	18
	保健師など専門職	0	0	0	0	0	0	3	0	3
	その他	1	0	2	11	0	0	7	0	21
合計		101	43	50	108	33	13	102	13	463
2. 依頼者										
●依頼者		1地区	2地区	3地区	4地区	5地区	6地区	7地区	9地区	合計
学校・幼稚園・保育園		91	37	0	72	15	13	42	11	281
PTA・保護者		5	6	0	11	1	0	7	1	31
市町村等行政団体 (保健所・保健センター等)		4	0	20	12	1	0	9	1	47
その他	教育委員会	0	0	0	0	16	0	33	0	49
	NPO	1	0	3	3	0	0	0	0	7
	フリースクール	0	0	0	9	0	0	0	0	9
	有志	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	ガールスカウト	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	企業	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	千葉市助産師会	0	0	0	0	0	0	7	0	7
	看護協会	0	0	0	0	0	0	2	0	2
合計		101	43	23	108	33	13	102	13	436
延べ人数										
●対象者		1地区	2地区	3地区	4地区	5地区	6地区	7地区	9地区	合計
就学前		0	0	0	24	8	0	1	3	36
小学校	1年生	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	2年生	402	254	0	62	0	0	2	0	720
	3年生	74	0	0	144	0	0	30	58	306
	4年生	1075	0	2	433	36	36	200	18	1800
	5年生	1078	1751	1	3562	0	171	460	112	7135
	6年生	3121	113	0	667	406	51	593	36	4987
中学校	1年生	714	80	0	719	0	0	0	0	1513
	2年生	297	1374	675	220	559	160	1569	0	4854
	3年生	1853	630	2481	1364	1702	172	3385	329	11916
高等学校	1年生	305	0	344	1091	165	0	614	181	2700
	2年生	609	0	0	1084	50	0	0	0	1743
	3年生	263	0	0	496	48	0	380	0	1187
特別支援学校	小学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学部	44	13	0	0	0	0	0	0	57
	高等部	285	76	0	0	0	0	0	0	361
PTA・保護者		871	339	33	1165	27	55	243	38	2771
大学生・専門学校生		0	0	0	87	0	0	22	223	332
社会人		0	0	0	82	0	0	232	0	314
教員		786	0	170	715	0	30	88	50	1839
その他	公民館・女性センター	26	0	0	142	0	0	26	0	194
	保健師など専門職	0	0	8	50	0	0	24	5	87
	その他	6	0	84	166	0	0	118	0	374
合計		11809	4630	3798	12273	3001	675	7988	1053	45227

4) 生と性の健康教育活動実績 (令和7年1月～12月)

1. 登録講師

千葉県助産師会登録講師は48名、総数では昨年度より2人増員だが、講師を卒業した人もあり、新しい講師が増加した。(令和8年1月時点)

2. 生と性の健康教育件数

- 1) 講演回数は、総数463回であった。小学校189回、中学校162回と義務教育の中での講演がほとんどである。
- 2) 講演参加者総数は、明確にできるのは、45,227人であった。今年初めて保健所から保護者向けにオンデマンド配信するという依頼があり、その視聴者の人数は把握できていない。
- 3) 千葉県助産師会のホームページの講師依頼の申し込みフォームからの依頼件数は54件であった。昨年に比べ増えているが、講座の多くは地域で築いてきた信頼関係の中で、助産師個人に直接依頼があったことがうかがわれる。
- 4) 令和7年は前年に比べ、講演会数が減少している地区があった。その要因として下記の状況があった。
 - ①文部科学省の「生命の安全教育」が提唱され、大人の生と性の健康教育への関心が高まっている中で、医師や民間団体でも講師として活動する人が増えた。(1地区、9地区)
 - ②生徒・児童数が150人を超えた場合は、PTAの予算で2回に分けて丁寧に開催していた学校が、今年から教育委員会の予算になったため1回でやることになった。(4地区)
行政からの予算が2年に1回となった。(2地区・市川市)
など、行政の予算とのかかわりで変更になった。
 - ③少子化に伴い学校の統廃合があり、学校数が減少した。

3. 次年度に向けて

現在、子どもたちの生と性の健康に関わる専門職は、医師、保健師、教員、心理職など多岐にわたり、それぞれの専門性に基づいた支援が展開されていることは、きわめて意義深いことである。

そのような多職種協働の体制の中にあっても、「生と性の健康教育に関しては助産師会に相談したい」「助産師だからこそ果たし得る役割がある」と認識される専門職集団であり続けるために、助産師会として専門性を一層深化させ、継続的な研鑽を積み重ねていくことが不可欠である。

今後も実践と理論の往還を通して知見を蓄積し、助産師ならではの視点と強みを活かした生と性の健康教育の質の向上に寄与していく必要がある。

備考

3地区の健康教育活動報告において実施数と依頼者数が違うことについては、昨年同様で下記の理由による。

- ・実習が伴う講座のため、クラス単位で実施している。
- ・1回の依頼につき複数クラスの講座を開催する。例えば1校の依頼で2クラス～9クラス(2時間～9時間)を1～3日かけて実施している。

5) 助産所分娩数（自宅分娩を含む）（令和7年1月～12月）

月	助産所	自宅	合計
1月	3	1	4
2月	4	2	8
3月	3	4	7
4月	7	1	8
5月	8	0	8
6月	10	2	12
7月	5	1	6
8月	0	2	2
9月	4	0	4
10月	6	1	7
11月	3	0	3
12月	7	1	7
合計	58	15	73

6) 令和7年度 千葉県助産師会 災害対策活動

〈九都県市合同防災訓練〉会場：館山市

5/14~6/13	第1回全体会議：YouTube 配信	金子
6/20	部門別調整会議(避難所運営訓練①)：館山市	根岸、金子
9/3	部門別調整会議(防災フェア①)：館山市	進藤
9/19	第3回全体会議：館山市 オンライン参加	末安、金子
10/19	第46回九都県市合同防災訓練 防災フェア：海上自衛隊館山航空基地 避難所運営訓練：国立海上技術学校	志村、清水、根岸、鈴木、進藤、末安、 小林(1)、夏村(9)、臼井(9)、佐藤 (9) 吉田(9) 上川(9)、金子、

〈災害時初動シミュレーション訓練〉

8/31	千葉市民会館：志村、清水、根岸、足立、塩見、水野、伊東、徳永、稲葉、進藤、志賀、西宮、鈴木、末安、今、來田、伊藤 金子
------	---

〈印西市災害時保健活動訓練〉

9/16	訓練会議：印西市立中央駅前地域交流館	根本、西宮、徳永 金子
10/17	印西市災害時保健活動訓練：印西市そうふけ公民館	志村 徳永 西宮 末安 金子
12/6	印旛市郡産婦人科医会定例会：日医大千葉北総病院	志村、西宮、的場、末安、金子

〈地区活動〉

地区	協定市	防災訓練、イベント	その他 会議など
1地区	柏市 松戸市	8/30 防災万博 in Nagareyama, 10/13ALFALINK 流山防災フェア 11/8 松戸市防災訓練	9/2 松戸市防災会議 11/4 柏市防災会議
2地区	浦安市	10/25 東京ベイ・浦安市川医療センター 一医療救護活動合同訓練	2/3 浦安市災害医療対策会議
3地区	船橋市		7/15・11/21・2/27 船橋市と話し合い
4地区	習志野市	11/16 習志野市防災訓練	9/4 1/28 習志野市防災会議
5地区	佐倉市 印西市 八街市 成田市 白井市 四街道市	10/5 佐倉市防災訓練 10/19 印西市防災訓練 10/25 四街道市防災訓練 11/8 成田市防災訓練 11/24 佐倉市子ども防災イベント 1/15 佐倉市避難所開設初動訓練 2/1 白井市防災訓練	8/20 白井市災害協定会議 8/29, 10/20 成田市防災訓練会議 9/9 印西市防災訓練会議 7/28 四街道市災害支援協定締結式 2/1 白井市
6・8地区	山武市 東金市	11/9 大網白里市防災訓練	9/22、10/28 大網白里市防災訓練会議
7地区	千葉市	11/9 イオンタウンおゆみ野防犯・防災フェア	2月 千葉市災害対策会議
9地区	木更津市	11/2 市原市防災訓練 3/1 市原市防災イベント参加	10/10 市原市防災訓練会議 1/9 市原市防災イベント打ち合わせ

〈研修会等〉

10/12	日本助産師会災害対策委員会連携集会	志村、根岸、進藤
9/22	千葉県災害時小児周産期リエゾン対応研修会基礎	塩見、來田、末安

7) 令和7年度「国際助産師の日」のつどい報告

1 地区 国際助産師の日実行委員長 末安 早苗

企画・運営担当地区：第1地区（柏・野田・我孫子・流山・松戸地区）

テーマ：「地域でつながる！はぐくむ！ファミリーウエルネス with 助産師」

日時：2025年7月13日（日）10時～16時

会場：スターツおおたかの森ホール（流山市）

後援：千葉県、流山市、柏市、野田市、我孫子市、松戸市、千葉県医師会、
千葉県産婦人科医学会、千葉県小児科医会、千葉県看護協会、日本助産師会

活動内容：10:00～16:00 子育て支援団体（12団体）ブース出展

10:30～11:30 性教育講座：担当：第1地区助産師

「家族ではじめよう、生と性のおはなし」

～今日からきみも【じぶん博士！】～

13:30～15:30 特別講演：菅原裕子氏

「子どもの心のコーチング」

参加人数：来場者約300名、性教育講座：親子9組、特別講演：70名

地域における助産師活動の啓発と、地域の子育て応援団（支援団体）との連携づくりを目的とし、流山市を拠点に活動する子育て支援12団体と協働での開催となった。

第1地区助産師による5～8歳の子どもとその保護者対象の性教育講座は、終了後アンケートで全員が「満足」または「大変満足」と回答。「身体と心の守り方がギュッとつまった充実の内容だった」「子どもが最後まで関心をもって取り組んでいた」という感想だった。

特別講演は、人材開発やコーチングの先駆者、菅原裕子氏にご講演いただいた。子育てに必要な3要素「愛すること・責任・人の役に立つ喜び」の中身を学び、それをどう実践していくか、参加者同士のワークも交え、大盛況のうちに終演となった。終了後アンケートで「自分の子育てに自信がなかったのですが、少し気持ちが楽になりました。できることからやってみます」という現役の母親からの回答や、父親から「参加してコミュニケーションの大切さがわかりました」と回答があり、高校生からは「自分に子どもが出来たら、たくさん愛を伝えようと思いました。素晴らしいことを学べてよかったです」という回答もあり、「満足」「大変満足」で98%という結果が得られた。イベントを通して、後援自治体や職能団体、他職種や地域の子育て支援団体との繋がりを図ったことで、参加団体同士の新たな繋がりへと発展させることができた。また、地区活動として防災ブース出展や性教育講座を実施したことで、会員個々のスキルアップや、会員同士の交流にもつながった。助産師としての専門性と、地域社会への貢献の重要性を再認識する機会となった。

8) 要望書

千助第07007号

令和7年7月26日

千葉県知事
熊谷 俊人 様

一般社団法人千葉県助産師会
会長 志村 千鶴子

令和8年度予算に関する要望書

次世代を担う子どもたちを安心して生み育てられる社会を目指し、一般社団法人千葉県助産師会は、思春期の健康教育や妊娠・出産・育児の支援に取り組んでおります。

千葉県に在住するすべての子育て世代の負担を軽減し、次世代育成および切れ目ない妊産婦への支援、また災害時の母子支援の提供体制が推進されますよう、以下の要望をいたします。

要 望 事 項

1. 分娩取扱施設支援事業の推進および助産所と嘱託医・嘱託医療機関・連携医療機関との協力・連携強化に向けた支援
2. 産後ケア事業の円滑な運用に向けた支援および安全対策の推進
 - 1) 希望するすべての利用者（産後の母子）が産後ケアを受けることができるために、産後ケア事業の円滑な運用および地域格差の軽減、また助産所の活用に向けた支援を図りたい。
 - 2) 産後ケア事業の安全対策強化のために、必要な設備・医療機器の補助や体制整備の助成を図りたい。
3. リスクの有無や妊娠・出産・育児の多様化に対応できる小児周産期医療体制の整備、妊娠期からの一貫した子育て支援体制の構築に向けた支援
4. 災害時の母子支援のための防災対策および連携強化
 - 1) 災害時の母子支援を推進するために、助産所を包含した体制で災害医療救護計画におけるネットワーク整備を図りたい。また、災害時の母子支援のための協定締結による連携強化を図りたい。
 - 2) 被災時の母子支援のために、千葉県内全域に災害時母子福祉避難所の設置を図りたい。
5. 成長発達段階に応じた次世代育成のための包括的性教育の推進
6. 助産師活用推進事業の一環として、助産学生の臨地実習施設確保に向けた支援の拡充
7. 出産費用（正常分娩）の保険適用化における保険指定医療機関としての助産所の環境整備に向けた支援

要 望 理 由

1. 分娩取扱施設支援事業の推進および助産所と嘱託医・嘱託医療機関・連携医療機関との協力・連携強化に向けた支援

少子化が加速する中、地域で子どもを安心して生み育てることのできる周産期医療体制を確保するために、特に分娩取扱施設が少ない地域や小規模事業所である助産所における分娩取扱施設の機能を維持するための支援をお願いしたい。具体的には、妊婦健診や分娩を取扱う施設として必要な施設整備、必要な医療機器（分娩監視装置、胎児超音波心音計、黄疸計、新生児聴覚検査機器など）の設備整備に対する財政的支援をお願いしたい。また、「千葉県医療機関等物価高騰対策支援事業」は、長期化するエネルギー価格・物価高騰による医療機関等の経営への影響を緩和し、医療提供体制を維持するために有益な事業ですが、無床助産所（出張専門）の場合、対象施設外となり申請ができない現状があります。有床助産所と同様に無床助産所（出張専門）は、法に基づく開設の届出を行い開業していますので、対象施設として無床助産所（出張専門）を考慮した支援をお願いしたい。

また、産科医療施設の中央集約化や産婦人科医師の高齢化により産科医療施設の減少が進み、助産所は嘱託医・嘱託医療機関・連携医療機関の確保が困難な状況にあります。安全で家族に囲まれた出産を望む妊産婦のニーズに応えるためにも、周産期医療の一翼を担う助産所におけるケアやサービスが安全に提供できるよう、県が主体的にかかわり周産期医療体制の中で中核を占める病院が嘱託医・嘱託医療機関・連携医療機関を担い、助産所との協力・連携強化に向けた支援をお願いしたい。

2. 産後ケア事業の円滑な運用に向けた支援及び安全対策の推進

1) 希望するすべての利用者（産後の母子）が産後ケアを受けることができるために、産後ケア事業の円滑な運用および地域格差の軽減、また助産所の活用に向けた支援を図りたい。

現在、産後ケア事業は希望する全ての母親が対象となり、実施主体である市町村が地域の実情に応じて様々な形態の産後ケアを提供しています。県は、市町村が単独では対応が難しい広域的な課題や専門性の高い支援が必要な場合、連携調整や広域的な支援を行う役割を担っています。経済的状況や居住地にかかわらず、必要なすべての産後の母子が安心して産後ケアを受けられるよう、利用枠の拡大や予算の拡充をお願いしたい。

千葉市の先進的な取り組みを参考に、出産前から産後ケアの登録を可能にし、利用希望施設への直接予約がオンライン等で簡便に行えるよう、出産前登録やオンライン予約システムの導入に向けて県全体で体制整備を進める必要があると考えます。また、市町村によって利用の可否やサービス内容に差がある現状を改善し、県内のどの地域に住んでいても、等しく産後ケアを受けられるよう、県としての統一的な指針と支援制度の整備が求められます。

里帰り出産の場合、産後ケアの対象外となる自治体があるため、産後ケアを受けられず実際には母親が孤立してしまうケースもあります。支援体制が整っているように見えても、実際は利用しにくい場合や利用できない現状が散見され、産前産後に育児不安を抱える妊産婦の現状は改善されていません。県内に里帰りした場合も、里帰り先の自治体でスムーズに産後ケアが利用できるよう、住民票や住所地を基準とした制度での運用を見直し、県全体での連携した体制や運用が求められます。産後の母子がより利用しやすい制度の運用となることで、市町村の産後ケア事業の利用拡大が期待できると考えます。

そのため、切れ目ない妊産婦への支援がより求められている現状において、産後ケアや継続的

支援が提供可能な施設として、助産所の活用を推進する必要があると考えます。産後ケア事業を持続可能な事業としていくためにも、利用しやすいシステム整備の推進、県域における地域格差の軽減、助産所の活用に向けた財政上の支援と調整をお願いしたい。

2) 産後ケア事業の安全対策強化のために、必要な設備・医療機器の補助や体制整備の助成を図られたい。

産後ケアのショートステイ型、デイサービス型、アウトリーチ型のいずれの場合においても、母子の安全面や衛生面に十分配慮してケア提供を行っていますが、産後ケア利用中の事故を未然に防ぐための安全対策をより一層強化する必要があります。本会では、産後ケア事業の実施に際し、安全管理マニュアルの周知徹底や実施状況の把握・監督に取り組んでいます。実際、安全管理をするうえで、5～15分ごとの乳児の呼吸状態の観察に要する人件費、ベビーセンサーなどの機器に係る費用、施設使用料などの支出により、小規模事業所である助産所は経営困難に陥り閉所せざるを得ない状況があります。

そのため、助産所が行っている専門的ケアを有効に活用し、母子の安全・安心を保障することができるために、産後ケア事業を受託する助産所および診療所の施設設備や医療機器の補助、雇用を含む体制整備に対する財政的支援をお願いしたい。

3. リスクの有無や妊娠・出産・育児の多様化に対応できる小児周産期医療体制の整備、妊娠期からの一貫した子育て支援体制の構築に向けた支援

千葉県では周産期医療体制の整備計画として、救命救急センターとの連携強化、小児医療との連携、災害時対応の強化、人材育成などを進めています。また、医師の働き方改革を踏まえ、助産師活用推進事業の一環として院内助産や助産師外来の設置を推進しています。令和5年度千葉県周産期医療体制に係る調査結果では、全78施設のうち院内助産を設置している施設は2施設(3%)、助産師外来を設置している施設は47施設(60%)に留まっている現状です。今後、院内助産や助産師外来の設置をさらに推進することで、さらなる助産師活用や医療連携の推進に繋がると考えます。

また、子どもを安心して産み、育てる環境づくりを整備するためには、リスクの高い妊娠や出産、高度な新生児医療に対応できる医療施設の認定や母体・新生児搬送ネットワークの整備に加えて、妊娠期からの地域における子育て支援のさらなる充実が求められていると考えます。妊娠中から心身の不調や育児への不安を抱える妊婦は少なくなく、妊娠期から切れ目ない支援を受けられる体制の整備が必要であると考えます。出産後の産後ケア事業と同様に、妊娠中から助産師等の専門職による継続的ケアを受けられる体制の導入・整備をお願いしたい。具体的には、妊娠期からの助産師による妊婦ケア外来や相談窓口の設置、地域の助産所等と連携した訪問型支援や、新生児集中治療室(NICU)退院後の児をもつ母親や家族に対する訪問看護等による継続的支援体制を確立することで、妊娠期から産後まで一貫した子育て支援が提供され、育児不安の軽減に繋がると考えます。また、現在、厚生労働省医政局(地域医療計画課)では、今後の小児周産期医療体制について検討する動きがあることから、産婦人科医会、小児科医会、看護協会、助産師会等の関係機関の連携強化による子育て支援がさらに重要視されると考えます。

そのため、院内助産や助産師外来、助産師による相談窓口の設置を推進し、助産所や母子に特化した訪問看護等による継続的支援体制を整備し、妊娠・出産・育児の多様化に対応できる小児周産期医療体制の整備をお願いしたい。

4. 災害時の母子支援のための防災対策および連携強化

- 1) 災害時の母子支援を推進するために、助産所を包含した体制で災害医療救護計画におけるネットワーク整備を図られたい。また、災害時の母子支援のための協定締結による連携強化を図られたい。

有床助産所においては、広域災害・救急医療情報システム（EMIS）に登録されていますが、災害時の母子支援の推進のために災害医療救護計画において、さらなる連携・協働が円滑に進むよう、ネットワークの整備をお願いしたい。また、災害時の母子支援体制の拡充のために協定締結による連携強化をお願いしたい。

- 2) 被災時の母子支援のために、千葉県内全域に災害時母子福祉避難所の設置を図られたい。

被災時の母子は要配慮者である反面、避難所での授乳や子どもの泣き声等による周囲への配慮から、避難所を避ける傾向があります。また、妊産婦は少人数であるため避難所で災害弱者として声を上げにくいことが想定され、特別な配慮がされないまま我慢を強いられる現状が考えられます。このような状況から、支援が必要な妊産婦や母子の把握がより困難になることが考えられます。

そのため、県内全域に母子福祉避難所の設置を推進し、災害時には速やかに母子が避難できる場所と体制の整備をお願いしたい。

5. 成長発達段階に応じた次世代育成のための包括的性教育の推進

「健やか親子 21（第2次）」の中間評価等に関する検討会報告では、学童期・思春期から成人期に向けた保健対策において、特に十代の性に関する課題、食生活等の生活習慣に関する課題について更なる取り組みの必要性が指摘されています。そのためには、性の健康に関する正しい知識を身につけることの重要性が強調され、セクシャリティ教育を人権、ジェンダー平等という枠組みの中で再認識し、若者にとっての利益が最大となる「性と人間関係」についての包括的な学びが求められています。

これまで、本会では千葉県内の小中学校を中心に46名の助産師を専門講師として派遣し、「生と性の健康教育講座」を実施してきました。令和6年度は、実施数516箇所、参加者49,437名となり、年々増加しています。本会が実施する成長発達段階に応じた包括的性教育の効果として、いのちや子ども産み育てることへのイメージが具体化し、自分の生活や将来のキャリア形成、家族との関係づくり等を考える良い機会になっていることが示されています。

そのため、成長発達段階に応じた包括的性教育の一環として、本会の「生と性の健康教育講座」実施について、市区町村の行政機関や教育機関等への周知と支援を引き続きお願いしたい。

6. 助産師活用推進事業の一環として、助産学生の臨地実習施設確保に向けた支援の拡充を図られたい。

助産学生の養成は将来の助産師の確保に繋がり、国が提示している助産師活用推進事業の一環として重要です。産科医療機関で実習を行う助産学生は、出生数が年々減少する中でハイリスク妊産婦が増加傾向にあるため、正常分娩の介助経験をもつことが困難な実習環境に置かれています。千葉県では、令和元年から「看護学生実習病院確保事業」の補助対象に助産学生も追加されましたが、実習施設確保の課題については改善の兆しが見えないため、産科医療機関へのさらなる周知の強化をお願いしたい。また、正常分娩を取り扱う有床助産所は開設数が少ないため、臨地実習を依頼することが難しい状況にあります。

そのため、助産学生の臨地実習施設の確保に向けて、実習受け入れ施設に対する助成等の財政的支援の拡充をお願いしたい。

7. 出産費用（正常分娩）の保険適用化における保険指定医療機関としての助産所の環境整備に向けた支援

厚生労働省は出産費用を見える化する施策を踏まえて、2026年度を目処に「標準的な出産費用の自己負担無償化に向けた具体的な制度設計を進める」としています。少子化対策の一環として、現在、社会保障審議会医療保険部会で出産費用の保険適用について具体的に検討が進められています。この保険適用化においては、現在よりも自己負担金が増える可能性も指摘され、標準的な出産費用の設定だけでなく診療報酬の設定も難しく、制度の内容によっては分娩取り扱いの中止を検討する産科医療機関が過半数を占めるという報告（日本産婦人科医会，2024）もあります。また、全国一律の診療報酬での評価により、妊産婦が選択できる幅が狭まるという懸念もあります。そのため、医療機関の経営にも配慮して、ケアやサービスの選別と情報公開の徹底を含めた方向で検討が進められています。

助産所は正常分娩を取り扱うため、出産費用の保険適用化により大きな影響を受けることが予想されます。また、妊産婦が出産場所を適切に選択できるように、助産所の環境整備のための支援をお願いしたい。

以上